SII Printer Driver for Windows
取扱説明書

Rev.01

[対象製品]

MP-B21L シリーズ

MP-B30L シリーズ

MP-B30 シリーズ

MP-B20 シリーズ

セイコーインスツル株式会社

Rev.01　　2024 年　11 月

©セイコーインスツル株式会社　2024
無断転載を禁じます。
本書の内容は、断りなく変更することがあります。
本書及び本書に記載された製品の利用によって発生した
損害及びその回復に要する費用に対し、当社は一切の責任を負いかねます。
この取扱説明書を第三者に無断で頒布することを禁じます。
Microsoft®及び Windows®は米国 Microsoft Corporation の米国、日本及びその他の国における登録商標です。
Bluetooth® は Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。

はじめに

本書は、セイコーインスツル株式会社（以降：SII）が提供する「SII Printer Driver for Windows」（以降：プリンタードライバー）について説明します。

本書の表記

本書の表記について説明します。

操作と表示

本書は原則、下記の条件に基づき記載します。

- Windows 10の画面及び表示構成
- マウス及びキーボードによる操作方法

用語一覧

本書で使用する用語について下記の通りに定義します。

用語	内容
プリンター名	プリンターフォルダーに表示され、ユーザーが変更できるフレンドリ名
ドライバー名	プリンタードライバーを識別する固有のモデル名
SDK	プリンタードライバーに付属する、直接プリンターと通信して制御することを目的とするアプリケーション開発向けダイナミックリンクライブラリ（DLL）
プリンターフォルダー	下記の操作により表示されるフォルダー [コントロールパネル]⇒[ハードウェアとサウンド]⇒[デバイスとプリンター]の順に選択し、表示される[デバイスとプリンター]フォルダー

用語	内容
プリント サーバーのプロパティ	下記の操作により表示されるプロパティ [プリンターフォルダー]内の任意のプリンターアイコンをクリック⇒[プリンターフォルダー]上部のツールバーに表示された[プリント サーバー プロパティ]を選択し、表示される[プリント サーバーのプロパティ]
技術説明書	下記の技術説明書 ・MP-B21Lシリーズ サーマルプリンタ 技術説明書 ・MP-B30Lシリーズ サーマルプリンタ 技術説明書 ・MP-B30シリーズ サーマルプリンタ 技術説明書 ・MP-B20シリーズ サーマルプリンタ 技術説明書
プリンターコマンド	「技術説明書」に記載されている、プリンターを制御するための命令
取扱説明書	下記の取扱説明書 ・MP-B21Lシリーズ サーマルプリンタ 取扱説明書 ・MP-B30Lシリーズ サーマルプリンタ 取扱説明書 ・MP-B30シリーズ サーマルプリンタ 取扱説明書 ・MP-B20シリーズ サーマルプリンタ 取扱説明書
メモリスイッチ	「取扱説明書」に記載されている[機能設定]の機能
NVイメージ	プリンターのNVメモリ(不揮発性メモリ)に登録されたイメージデータ
IPD※1 フォント	プリンタードライバー独自の下記のフォントの総称 ・ デバイスフォント: プリンターに搭載されているフォント ・ バーコードフォント: プリンターでバーコードを印刷するための特殊フォント ・ 2次元バーコードフォント: プリンターで2次元バーコードを印刷するための特殊フォント ・ コントロールフォント: あらかじめ登録されているプリンターコマンドを使用するための特殊フォント ・ コントロールAフォント: ユーザーが登録したプリンターコマンドを使用するための特殊フォント
特殊フォント	IPDフォントで、プリンターコマンドの出力のために使用する下記のフォントの総称 ・ バーコードフォント ・ 2次元バーコードフォント ・ コントロールフォント ・ コントロールAフォント
ドット	印字を構成する単位 8ドットで1mmのドット密度で印字

※1: Integrated Printer Driver

1章　概要　1-1

1.1　対象製品 1-1
1.2　プリンターの設定 1-2
1.3　制限事項 1-4

2章　インストール　2-1

3章　印刷設定　3-1

3.1　レイアウト 3-2
3.1.1　レイアウトの設定 3-2
3.2　用紙/品質 3-3
3.2.1　用紙/品質の設定 3-3
3.3　書式設定 3-4
3.3.1　書式の設定 3-4
3.3.2　設定ビューのマーク一覧 3-6
3.3.3　設定リストのカテゴリ 3-6
3.3.4　プリセットの利用 3-7
3.3.5　基本設定 3-12
3.3.6　用紙送り/マーク・ギャップ検出/マーク紙設定 3-15
3.3.7　オプションの設定 3-17
3.3.8　バイナリエディターの使用方法 3-18
3.4　フォント 3-19
3.4.1　フォントの設定 3-19
3.4.2　設定ビューのマーク一覧 3-20
3.4.3　設定リストのカテゴリ 3-20
3.4.4　デバイスフォントの設定 3-21
3.4.5　バーコードフォントの設定 3-23
3.4.6　2次元バーコードフォントの設定 3-28
3.4.7　コントロールAフォントの設定 3-32
3.5　ウォーターマーク 3-33
3.5.1　ウォーターマーク 3-33
3.5.2　設定ビューのマーク一覧 3-34
3.5.3　設定リストのカテゴリ 3-34
3.5.4　ウォーターマークの設定 3-35
3.5.5　ウォーターマークの利用 3-36
3.6　詳細設定 3-37
3.6.1　詳細オプションの設定 3-37

4章　プリンターのプロパティ　4-1

4.1　全般設定 4-2
4.2　共有設定 4-3
4.3　ポート設定 4-4
4.4　デバイスの設定 4-5

4.5 ユーティリティ/ツール 4-6

5章 用紙設定 5-1

5.1 用紙サイズ 5-3
5.2 余白 5-5
5.3 カスタム用紙の登録方法 5-7

6章 フォント 6-1

6.1 デバイスフォント 6-2
6.1.1 デバイスフォントの種類の選択 6-2
6.1.2 デバイスフォントの印刷 6-3
6.2 バーコードフォント 6-4
6.2.1 バーコードフォントの種類の選択 6-4
6.2.2 バーコードフォントの印刷 6-5
6.3 2次元バーコードフォント 6-7
6.3.1 2次元バーコードフォントの種類の選択 6-7
6.3.2 2次元バーコードフォントの印刷 6-7
6.4 コントロールフォント 6-8
6.4.1 コントロールフォントの種類の選択 6-8
6.4.2 コントロールフォントの使用 6-8
6.5 コントロールAフォント 6-9
6.5.1 コントロールAフォントの種類の選択 6-9
6.5.2 コントロールAフォントの使用 6-9
付録A コード表 A-1

1章　概要

本章ではプリンタードライバーの概要について説明します。

1.1 対象製品

本書の対象製品とドライバー名は下記の通りです。

プリンター	デフォルトのドライバー名
MP-B21Lシリーズ	SII MP-B21L
MP-B30Lシリーズ	SII MP-B30L
MP-B30シリーズ	SII MP-B30
MP-B20シリーズ	SII MP-B20

1.2 プリンターの設定

プリンタードライバーの利用にあたり、プリンターのメモリスイッチを下記の[値]に設定してください。

メモリスイッチは「SII Printer Setting Utility for Windows」により変更できます。変更方法は、「SII Printer Setting Utility for Windows 取扱説明書」を参照してください。

• MP-B21L、MP-B30Lシリーズ

MS	機能	値
1-1	通信選択 (Interface)	0 : USB※1 1 : USB/Wireless※2
1-2	マーク・ギャップモード選択 (Mark/Gap Mode)	0 : 有効※3 1 : 無効
1-3 ～ 1-5	コマンド体系選択 (Command System)	000B : ESC/POS
2-2	リアルタイムコマンド選択 (Realtime Command)	0 : 有効
3	印字幅 (Print Width)	「5.1 用紙サイズ」の「用紙サイズ/範囲」 - 「幅」と同じ印字幅に設定してください。
9-1	自動ステータス応答機能選択 (Auto Status Back)	0 : 有効 1 : 無効※4
9-2	イニシャライズ完了応答選択 (Init. Response)	0 : 有効※5
26 ～ 27	マーク検出印字位置補正 (Print Position Correction)	「MS21～22 マーク検出カット位置補正(Cut Position Correction)」の「値」と同じ値に設定してください。

※1: USB 接続の場合は、本設定を「USB」にしてください。
※2: Bluetooth 接続、または TCP/IP 接続の場合は、本設定を「USB/Wireless」にしてください。
※3: マーク検出、またはギャップ検出で用紙の頭出しを行う場合は、本設定を「有効」にしてください。
※4: 通常は、本設定を「有効」にしてください。ただし『4.3 ポート設定』の「双方向サポートを有効にする」のチェックボックスをオフに選択した場合は、本設定を「無効」にしてください。
※5: SDK で[イニシャライズ完了応答]を取得する場合は、本設定を「有効」にしてください。

• MP-B30シリーズ

MS	機能	値
1-1	通信選択 (Interface)	0 : USB※1 1 : USB/Wireless※2
1-2	マークモード選択 (Mark Mode)	0 : 有効※3 1 : 無効
2-2	リアルタイムコマンド選択 (Realtime Command)	0 : 有効
9-1	自動ステータス応答機能選択 (Auto Status Back)	0 : 有効 1 : 無効※4
9-2	イニシャライズ完了応答選択 (Init. Response)	0 : 有効※5

※1: USB 接続の場合は、本設定を「USB」にしてください。
※2: Bluetooth 接続、または TCP/IP 接続の場合は、本設定を「USB/Wireless」にしてください。
※3: マーク紙の頭出しを行う場合は、本設定を「有効」にしてください。
マーク紙の頭出しを行わない場合は、本設定を「無効」にしてください。
※4: 通常は、本設定を「有効」にしてください。ただし『4.3 ポート設定』の「双方向サポートを有効にする」のチェックボックスをオフに選択した場合は、本設定を「無効」にしてください。
※5: SDK で[イニシャライズ完了応答]を取得する場合は、本設定を「有効」にしてください。

• MP-B20シリーズ

MS	機能	値
1-1	通信選択 (Interface)	0 : USB 1 : Wireless
3-1	自動ステータス応答機能選択 (Auto Status Back)	0 : 有効 1 : 無効※1
3-2	イニシャライズ完了応答選択 (Init. Response)	0 : 有効※2 1 : 無効※1
3-3	リアルタイムコマンド選択 (Realtime Command)	0 : 有効

※1: 通常は、本設定を「有効」にしてください。ただし『4.3 ポート設定』の「双方向サポートを有効にする」のチェックボックスをオフに選択した場合は、本設定を「無効」にしてください。
※2: SDK で[イニシャライズ完了応答]を取得する場合は、本設定を「有効」にしてください。

注意

◆ 上記以外の設定にした場合は、プリンタードライバーが正常に動作しなくなる恐れがあります。

1.3 制限事項

プリンタードライバーには、下記の制限事項があります。

- Windows標準機能のスリープモード、休止モードでの印字化け等の異常動作については、保証対象外です。
- プリンターコマンド「周辺機器の選択」において、プリンターを無効に選択した場合は、プリンタードライバーの機能はすべて利用できません。
- 縮小機能を利用するには、専用のプリントプロセッサ（SII POS Print Processor）が選択されている必要があります。プリントプロセッサの選択状態は、プリンターのプロパティの[詳細設定]タブで確認してください。
- 印刷中断時にプリンターと未接続状態、またはプリンターがデータを受け付けない状態になっていた場合は、プリンターのリセット処理が正常に実施されず、印字化け等が発生する可能性があります。
- TCP/IP接続時に、複数のコンピューターで同一のIPアドレスを指定してインストールした場合は、ツール及びSDKを複数のコンピューターで同時利用することはできません。また、印刷をキャンセルした場合は、正常に印刷されない場合があります。

2章　インストール

インストールについては、「SII ソフトウェアパッケージ for Windows インストールガイド」を参照してください。

3章　印刷設定

本章では印刷設定について説明します。

印刷設定は[印刷設定]画面の各種タブから、それぞれ確認及び変更ができます。

[印刷設定]画面は下記の手順で表示できます。

1. [プリンターフォルダー]内のプリンターアイコンを右クリックしてサブメニューを表示してください。
2. 表示したサブメニューから[印刷設定(G)]を選択してください。

[印刷設定]画面で表示されるタブには下記の種類があります。

- [レイアウト]タブ　：　印刷の向き、ページの順序及びページ形式を設定します。
- [用紙/品質]タブ　：　印刷モードを設定します。
- [書式設定]タブ　：　印刷書式を設定します。
- [フォント]タブ　：　IPDフォントを設定します。
- [ウォーターマーク]タブ　：　印刷内容に重ねるイメージを設定します。

注意

◆ Windowsストアアプリから印刷を行う場合は、[印刷設定]画面で設定可能な項目の一部しか表示されません。

参考

- MP-B20はウォーターマークをサポートしていません。

各画面の詳細は次項以降で説明します。

3.1 レイアウト

印刷の向き、ページの順序及びページ形式を設定します。

3.1.1 レイアウトの設定

[レイアウト]タブを選択し、下記の画面を表示してください。

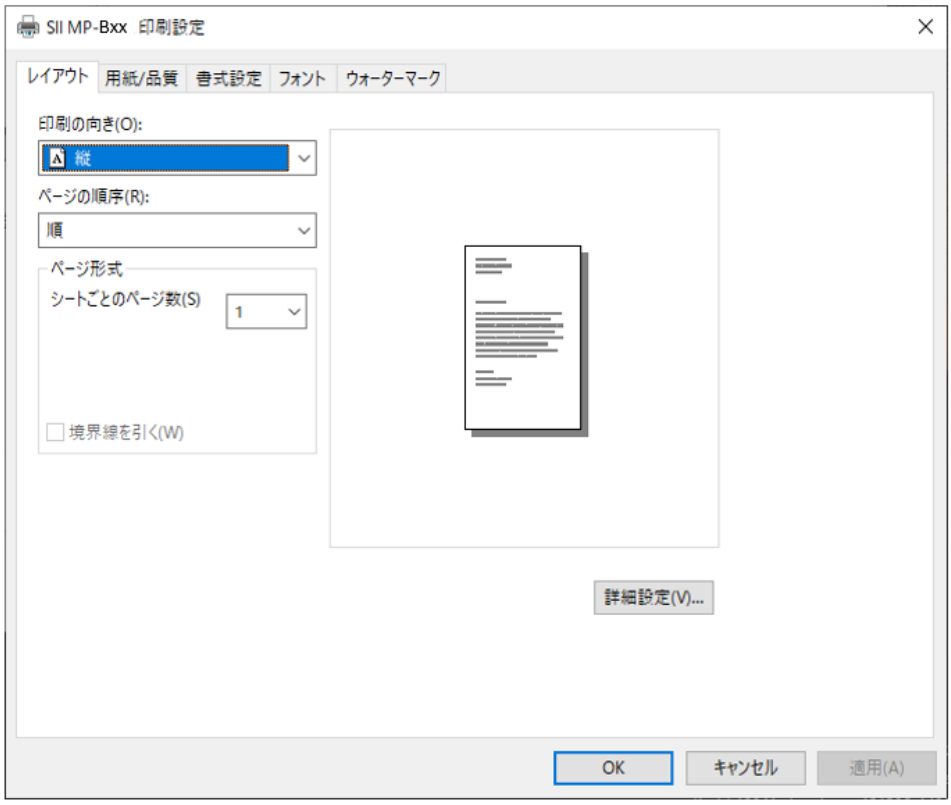


図 3-1 [レイアウト]画面(例)

項目	説明 (" ": 初期値)
印刷の向き(O)	印刷の向きを選択します。 ・ 縦 ・ 横 「横」に設定すると、IPDフォントは使用できません。
ページの順序(R)	印刷するページの順序を選択します。 ・ 順 ・ 逆
ページ形式	シートごとのページ数を設定します。
シートごとのページ数(S)	1シートごとに印刷するページ数を選択します。 ・ 1 ・ 2 ・ 4 ・ 6 ・ 9 ・ 16
詳細設定(V)...	詳細設定ダイアログを表示します。 詳細は「3.6 詳細設定」を参照してください。

3.2 用紙/品質

印刷モードを設定します。

3.2.1 用紙/品質の設定

[用紙/品質]タブを選択し、下記の画面を表示してください。

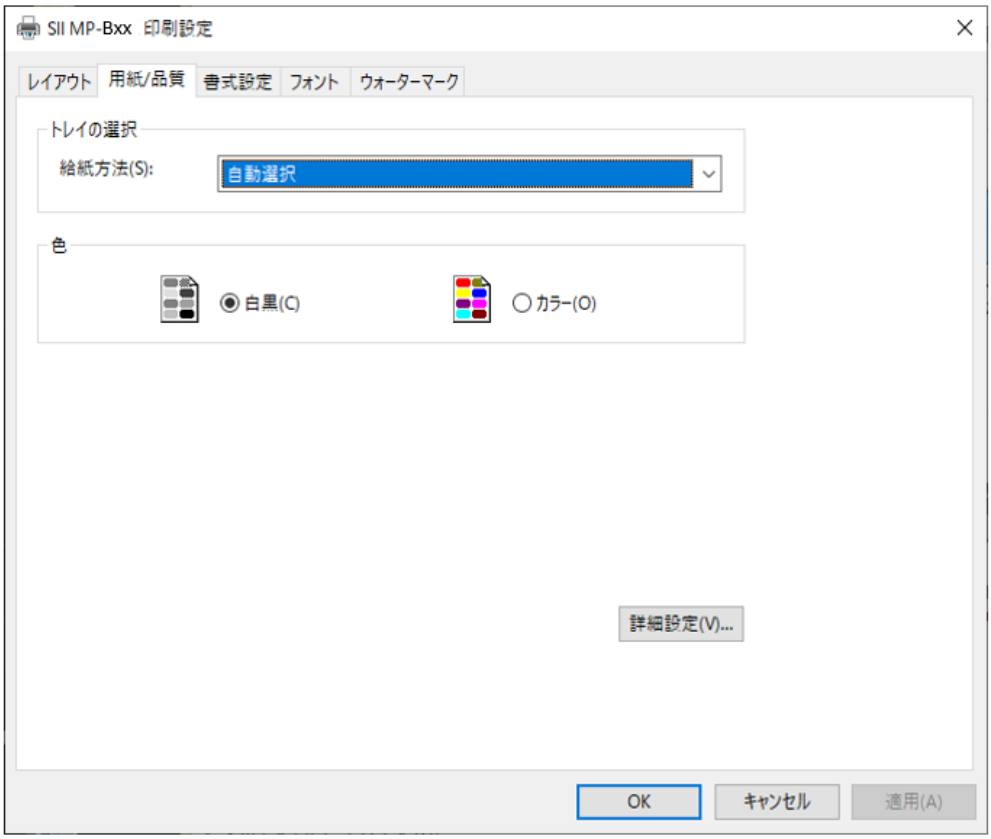


図 3-2 [用紙/品質]画面例

項目	説明（"　"：初期値）
トレイの選択	給紙方法を設定します。
給紙方法(S)	給紙方法は「自動選択」で固定です。 ・ 自動選択
色	印刷モードを選択します。※1 ※2 ・ 白黒　（システム標準のハーフトーンを使用します） ・ カラー　（プリンタードライバーのハーフトーンを使用します）
詳細設定(V)...	詳細設定ダイアログを表示します。 詳細は「3.6 詳細設定」を参照してください。

※1: 「カラー」を選択すると「3.6 詳細設定」の[ハーフトーン]で、「自動選択」以外は選択できません。
※2: 本設定は「3.6 詳細設定」の[カラー印刷モード]と連動します。

3.3 書式設定

印刷書式を設定します。

3.3.1 書式の設定

[書式設定]タブを選択し、下記の画面を表示してください。

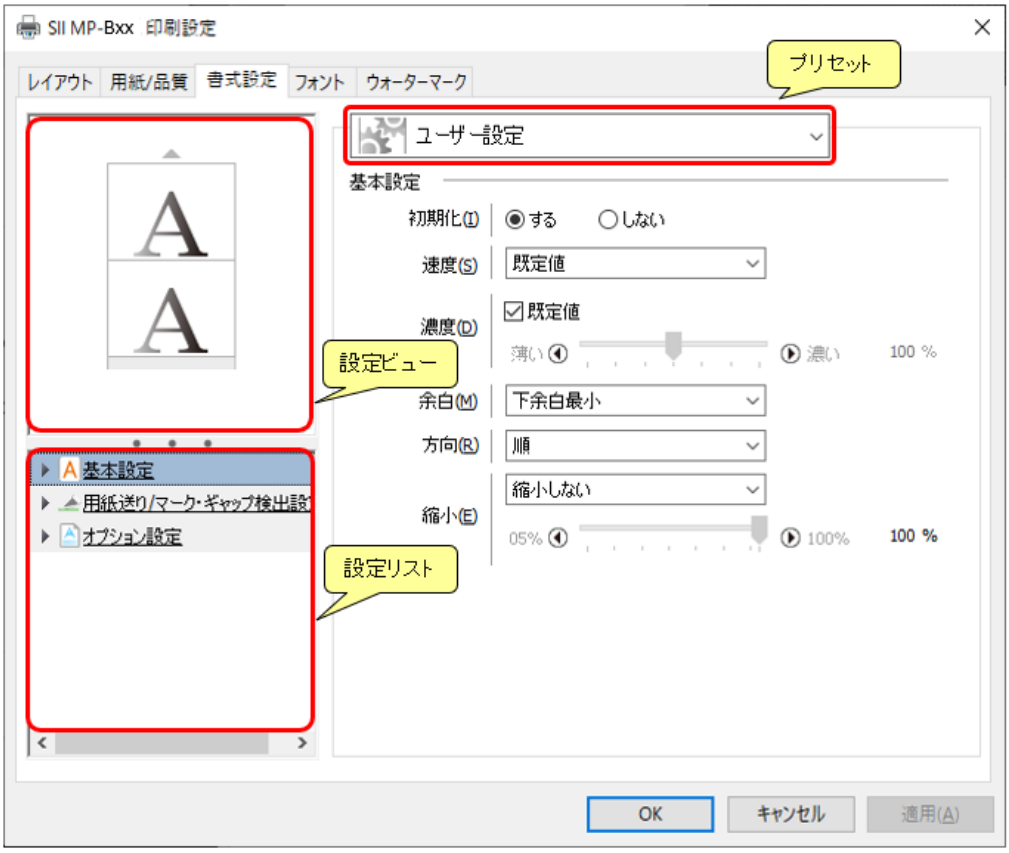


図 3-3 [書式設定]画面

項目	説明（"　"：初期値）
設定ビュー	主な機能の設定状況を各種マークで表示します。 マークについては「3.3.2 設定ビューのマーク一覧」を参照してください。
設定リスト	書式設定の全機能をカテゴリ別に表示します。 カテゴリ名を選択すると、該当する設定画面を表示します。 表示されるカテゴリについては「3.3.3 設定リストのカテゴリ」を参照してください。 カテゴリの先頭の ▶ をクリックすると、カテゴリ内の項目を表示します。 設定が変更された項目は、変更が確定されるまで赤字で表示します。

<table>
<tr><th>項目</th><th>説明（"　　":初期値）</th></tr>
<tr><td>プリセット</td><td>各用途向けにあらかじめ登録されている設定内容に一括設定します。
<table>
<tr><th>プリンター</th><th>設定</th></tr>
<tr><td>MP-B21L</td><td>・58 mm レシート設定
・58 mm マーク・ギャップ頭出し設定
・58 mm マーク・ギャップ頭出し設定（ラベル紙）
・50.8 mm レシート設定
・50.8 mm マーク・ギャップ頭出し設定
・50.8 mm マーク・ギャップ頭出し設定（ラベル紙）
・25.4 mm レシート設定
・25.4 mm マーク・ギャップ頭出し設定
・25.4 mm マーク・ギャップ頭出し設定（ラベル紙）
・A4->58 mm 縮小設定
・A4->50.8 mm 縮小設定
・A4->25.4 mm 縮小設定
・ユーザー設定※1</td></tr>
<tr><td>MP-B30L</td><td>・80 mm レシート設定
・80 mm マーク・ギャップ頭出し設定
・80 mm マーク・ギャップ頭出し設定（ラベル紙）
・76.2 mm レシート設定
・76.2 mm マーク・ギャップ頭出し設定
・76.2 mm マーク・ギャップ頭出し設定（ラベル紙）
・58 mm レシート設定
・58 mm マーク・ギャップ頭出し設定
・58 mm マーク・ギャップ頭出し設定（ラベル紙）
・A4->80 mm 縮小設定
・A4->76.2 mm 縮小設定
・A4->58 mm 縮小設定
・ユーザー設定※1</td></tr>
<tr><td>MP-B30</td><td>・80 mm レシート設定
・80 mm マーク紙設定
・A4->80 mm 縮小設定
・ユーザー設定※1</td></tr>
<tr><td>MP-B20</td><td>・58 mm レシート設定
・A4->58 mm 縮小設定
・ユーザー設定※1</td></tr>
</table>
各「プリセット」の設定内容は「3.3.4 プリセットの利用」を参照してください。</td></tr>
</table>

※1: 「ユーザー設定」のインストール直後の設定は、用紙サイズ以外はレシート設定の値になります。用紙サイズは使用している言語環境によって異なります。用紙サイズについては、「3.6.1 詳細オプションの設定」の項目を参照してください。

3.3.2 設定ビューのマーク一覧

[書式設定]画面の「設定ビュー」で表示されるマークは下記の通りです。

項目	マーク			
印刷の向き(O)	 縦※1		 横※1	
濃度(D)	 薄い		 濃い	
余白(M)	 最小余白	 上余白最小	 下余白最小	 最大余白
方向(R)	 順※2		 逆※2	

※1: [方向(R)]を「順」で選択している場合のマークです。
※2: [印刷の向き(O)]を「縦」で選択している場合のマークです。

3.3.3 設定リストのカテゴリ

「設定リスト」で表示される機能のカテゴリは下記の通りです。

カテゴリ	説明
基本設定	初期化等の基本的な項目について設定します。
MP-B21L、MP-B30L 用紙送り/マーク・ギャップ検出設定	用紙のカット位置までの紙送り、ブラックマークまたはギャップの検出動作について設定します。
MP-B30 用紙送り/マーク紙設定	用紙のカット位置までの紙送り、及びマーク紙利用時のブラックマーク検出動作について設定します。
MP-B20 用紙送り設定	カット位置までの紙送りについて設定します。
オプション設定	印刷の各タイミングでの動作を設定します。

各カテゴリの設定項目については、以降で説明します。

3.3.4 プリセットの利用

「プリセット」とは、あらかじめ各用途向けに決められたパラメーターに一括設定できる機能です。
「プリセット」で設定された項目のうち、いずれかの設定が変更されればその時点で「プリセット」は解除され、「プリセット」は「ユーザー設定」に変更されます。
「プリセット」を変更すると、書式設定以外の項目も指定した「プリセット」の設定内容に変更されます。その際、各設定が変更されるメッセージは表示されません。

設定できる「プリセット」の種類とその設定内容は下記の通りです。

MP-B21Lシリーズ

プリセット種類	項目	内容
58 mm レシート設定 50.8 mm レシート設定 25.4 mm レシート設定	詳細設定	
	用紙サイズ	58 mm (48 x 3276 mm) 50.8 mm (46 x 3276 mm) 25.4 mm (21 x 3276 mm)
	書式設定	
	基本設定	
	縮小(E)	縮小しない
	用紙送り/マーク・ギャップ検出設定	
	カット位置まで紙送り(F)	する
	頭出し(M)	しない
	頭出し位置の補正(O)	0 dot
58 mm マーク・ギャップ頭出し設定 50.8 mm マーク・ギャップ頭出し設定 25.4 mm マーク・ギャップ頭出し設定	詳細設定	
	用紙サイズ	58 mm (48 x 3276 mm) 50.8 mm (46 x 3276 mm) 25.4 mm (21 x 3276 mm)
	書式設定	
	基本設定	
	縮小(E)	縮小しない
	用紙送り/マーク・ギャップ検出設定	
	カット位置まで紙送り(F)	しない
	頭出し(M)	ページ単位
	頭出し位置の補正(O)	0 dot
58 mm マーク・ギャップ頭出し設定 （ラベル紙） 50.8 mm マーク・ギャップ頭出し設定 （ラベル紙） 25.4 mm マーク・ギャップ頭出し設定 （ラベル紙）	詳細設定	
	用紙サイズ	58 mm (46 x 3276 mm) 50.8 mm (44 x 3276 mm) 25.4 mm (21 x 3276 mm)
	書式設定	
	基本設定	
	縮小(E)	縮小しない
	用紙送り/マーク・ギャップ検出設定	
	カット位置まで紙送り(F)	しない
	頭出し(M)	ページ単位
	頭出し位置の補正(O)	0 dot

プリセット種類	項目		内容
A4->58 mm 縮小設定 A4->50.8 mm 縮小設定 A4->25.4 mm 縮小設定	詳細設定		
	用紙サイズ		A4
	書式設定		
	基本設定		
		縮小(E)	58 mm用紙にフィット 50.8 mm用紙にフィット 25.4 mm用紙にフィット
	用紙送り/マーク・ギャップ検出設定		
		カット位置まで紙送り(F)	する
		頭出し(M)	しない
		頭出し位置の補正(O)	0 dot

MP-B30Lシリーズ

プリセット種類	項目		内容
80 mm レシート設定 76.2 mm レシート設定 58 mm レシート設定	詳細設定		
	用紙サイズ		80 mm (72 x 3276 mm) 76.2 mm (72 x 3276 mm) 58 mm (54 x 3276 mm)
	書式設定		
	基本設定		
		縮小(E)	縮小しない
	用紙送り/マーク・ギャップ検出設定		
		カット位置まで紙送り(F)	する
		頭出し(M)	しない
		頭出し位置の補正(O)	0 dot
80 mm マーク・ギャップ頭出し設定 76.2 mm マーク・ギャップ頭出し設定 58 mm マーク・ギャップ頭出し設定	詳細設定		
	用紙サイズ		80 mm (72 x 3276 mm) 76.2 mm (72 x 3276 mm) 58 mm (54 x 3276 mm)
	書式設定		
	基本設定		
		縮小(E)	縮小しない
	用紙送り/マーク・ギャップ検出設定		
		カット位置まで紙送り(F)	しない
		頭出し(M)	ページ単位
		頭出し位置の補正(O)	0 dot

プリセット種類	項目	内容
80 mm マーク・ギャップ頭出し設定（ラベル紙） 76.2 mm マーク・ギャップ頭出し設定（ラベル紙） 58 mm マーク・ギャップ頭出し設定（ラベル紙）	詳細設定	
	用紙サイズ	80 mm (72 x 3276 mm) 76.2 mm (70 x 3276 mm) 58 mm (52 x 3276 mm)
	書式設定	
	基本設定	
	縮小(E)	縮小しない
	用紙送り/マーク・ギャップ検出設定	
	カット位置まで紙送り(F)	しない
	頭出し(M)	ページ単位
	頭出し位置の補正(O)	0 dot
A4->80 mm 縮小設定 A4->76.2 mm 縮小設定 A4->58 mm 縮小設定	詳細設定	
	用紙サイズ	A4
	書式設定	
	基本設定	
	縮小(E)	80 mm用紙にフィット 76.2 mm用紙にフィット 58 mm用紙にフィット
	用紙送り/マーク・ギャップ検出設定	
	カット位置まで紙送り(F)	する
	頭出し(M)	しない
	頭出し位置の補正(O)	0 dot

MP-B30シリーズ

プリセット種類	項目	内容
80 mm レシート設定	詳細設定	
	用紙サイズ	80 mm (72 x 3276 mm)
	書式設定	
	基本設定	
	縮小(E)	縮小しない
	用紙送り/マーク紙設定	
	カット位置まで紙送り(F)	する
	マーク紙の頭出し(M)	しない
	頭出し位置の補正(O)	0 dot
80 mm マーク紙設定	詳細設定	
	用紙サイズ	80 mm (72 x 3276 mm)
	書式設定	
	基本設定	
	縮小(E)	縮小しない
	用紙送り/マーク紙設定	
	カット位置まで紙送り(F)	しない
	マーク紙の頭出し(M)	ページ単位
	頭出し位置の補正(O)	0 dot
A4->80 mm 縮小設定	詳細設定	
	用紙サイズ	A4
	書式設定	
	基本設定	
	縮小(E)	80 mm用紙にフィット
	用紙送り/マーク紙設定	
	カット位置まで紙送り(F)	する
	マーク紙の頭出し(M)	しない
	頭出し位置の補正(O)	0 dot

MP-B20シリーズ

プリセット種類	項目	内容
58 mm レシート設定	詳細設定	
	用紙サイズ	58 mm (48 x 3276 mm)
	書式設定	
	基本設定	
	縮小(E)	縮小しない
	用紙送り設定	
	カット位置まで紙送り(F)	する
A4->58 mm 縮小設定	詳細設定	
	用紙サイズ	A4
	書式設定	
	基本設定	
	縮小(E)	58 mm用紙にフィット
	用紙送り設定	
	カット位置まで紙送り(F)	する

各「プリセット」共通の設定内容は下記の通りです。

種類	項目	内容
共通設定	レイアウト	
	印刷の向き(O)	縦
	書式設定	
	基本設定	
	初期化(I)	する
	速度(S)	既定値
	濃度(D)	MP-B20以外: 既定値 MP-B20: 100%
	余白(M)	下余白最小
	方向(R)	順
	オプション設定	
	(全タイミング共通)	
	ロゴ有無(L)	なし
	紙送り(F)	0 dot
	コマンド送信(S)	(空欄)
	ウォーターマーク	
	ウォーターマーク設定	
	イメージ(I)	なし

3.3.5 基本設定

「設定リスト」の[基本設定]を選択し、下記の画面を表示してください。

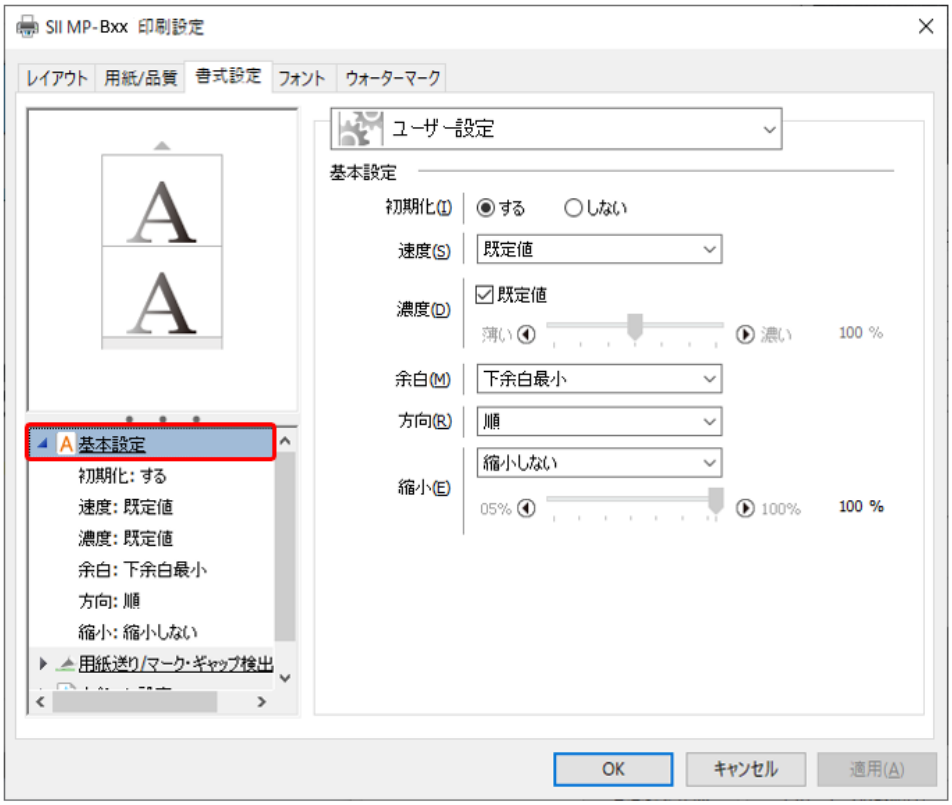


図 3-4 [基本設定]画面(例)

注意

◆ プリンターがサポートする項目が表示されます。

項目	説明 (" ": 初期値)
基本設定	初期化等の基本的な項目について設定します。
初期化(I)	印刷前にプリンターの初期化の有無を選択します。 ・する ・しない
速度(S)	印刷速度を選択します。 ・既定値※1 ・標準※2 ・品質1※2 ・品質2※2
濃度(D)	印刷濃度を設定します。(単位:%) ・既定値※1 ・70 ～ 130 (100※3)

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th>説明（"　"：初期値）</th></tr>
<tr><td></td><td>余白(M)</td><td>余白を選択します。
・最小余白※4
・上余白最小
・下余白最小※4
・最大余白</td></tr>
<tr><td></td><td>方向(R)</td><td>印刷排出の方向を選択します。
・順
・逆
「逆」に設定すると、IPDフォントは使用できません。</td></tr>
<tr><td></td><td>縮小(E)</td><td>縮小印刷を選択します。
<table>
<tr><th>プリンター</th><th>設定</th></tr>
<tr><td>MP-B21L</td><td>・縮小しない
・58 mm用紙にフィット
・58 mmラベル紙にフィット
・50.8 mm用紙にフィット
・50.8 mmラベル紙にフィット
・25.4 mmラベル紙にフィット
・指定倍率[5 ～ 100]（単位：%）</td></tr>
<tr><td>MP-B30L</td><td>・縮小しない
・80 mm用紙にフィット
・80 mmラベル紙にフィット
・76.2 mm用紙にフィット
・76.2 mmラベル紙にフィット
・58 mm用紙にフィット
・58 mmラベル紙にフィット
・指定倍率[20 ～ 100]（単位：%）</td></tr>
<tr><td>MP-B30</td><td>・縮小しない
・80 mm用紙にフィット
・指定倍率[20 ～ 100]（単位：%）</td></tr>
<tr><td>MP-B20</td><td>・縮小しない
・58 mm用紙にフィット
・指定倍率[20 ～ 100]（単位：%）</td></tr>
</table>
「縮小しない」以外に設定すると、IPDフォントは使用できません。</td></tr>
</table>

※1: プリンターの設定に従います。MP-B20 はサポートしていません。
※2: 印字速度についての詳細は、「取扱説明書」を参照してください。
※3: MP-B20 の初期値です。
※4: MP-B21L:
印刷内容が 25mm に満たない場合は、25mm となるまで紙送りします。
MP-B30L、MP-B30、MP-B20:
印刷内容が 30mm に満たない場合は、30mm となるまで紙送りします。

参考

- 方向(R)
  [方向(R)]を「逆」に設定すると、印刷するデータを180度回転させることができます。
- 余白(M)
  [余白(M)]を設定すると、余白の量が変わります。

	印刷開始から 最初の印刷データまでの 余白を節約	最後の印刷データから 用紙カットまでの 余白を節約
最小余白	○	○
上余白最小	○	－
下余白最小	－	○
最大余白	－	－

余白の詳細については、「5.2 余白」を参照してください。

3.3.6　用紙送り/マーク・ギャップ検出/マーク紙設定

「設定リスト」の[用紙送り/マーク・ギャップ検出/マーク紙設定]を選択し、下記の画面を表示してください。

MP-B21L、MP-B30L:　　用紙送り/マーク・ギャップ検出設定

MP-B30:　　用紙送り/マーク紙設定

MP-B20:　　用紙送り設定

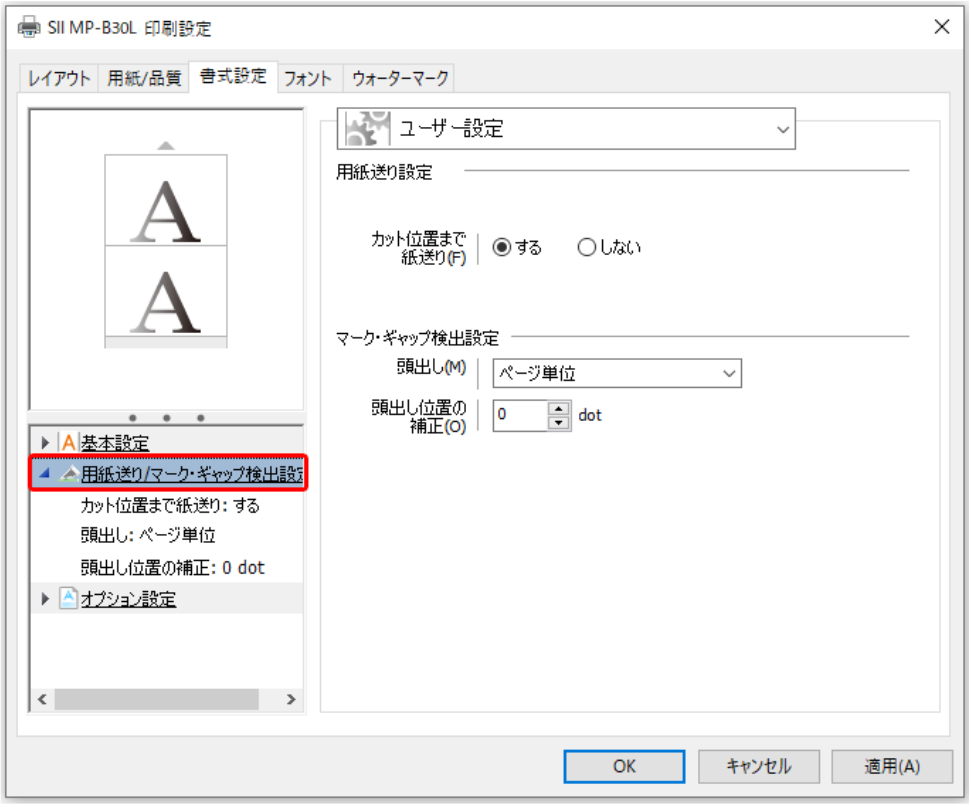


図 3-5 [用紙送り/マーク・ギャップ検出設定]画面(例)

注意

◆ プリンターがサポートする項目が表示されます。

項目	説明 (" ": 初期値)
用紙送り設定	カット位置までの紙送りについて設定します。
カット位置まで紙送り(F)	カット位置までの紙送りの有無を選択します。 ・ する ・ しない

項目	説明（"　"：初期値）
MP-B21L、MP-B30L マーク・ギャップ検出設定	ブラックマーク、またはギャップの検出動作について設定します。
頭出し(M)	ブラックマーク、またはギャップの検出動作を設定します。 ・しない ・ページ単位 ・ジョブ単位
頭出し位置の補正(O)	頭出し位置の補正を設定します。（単位：dot） MP-B21L ・-28 ～ 255 (0) MP-B30L ・0 ～ 255 (0)
MP-B30 マーク紙設定	マーク紙利用時のブラックマーク検出動作について設定します。
頭出し(M)	ブラックマークの検出動作を設定します。 ・しない ・ページ単位 ・ジョブ単位
頭出し位置の補正(O)	頭出し位置の補正を設定します。（単位：dot） ・0 ～ 255 (0)

3.3.7 オプションの設定

「設定リスト」の[オプション設定]を選択し、下記の画面を表示してください。

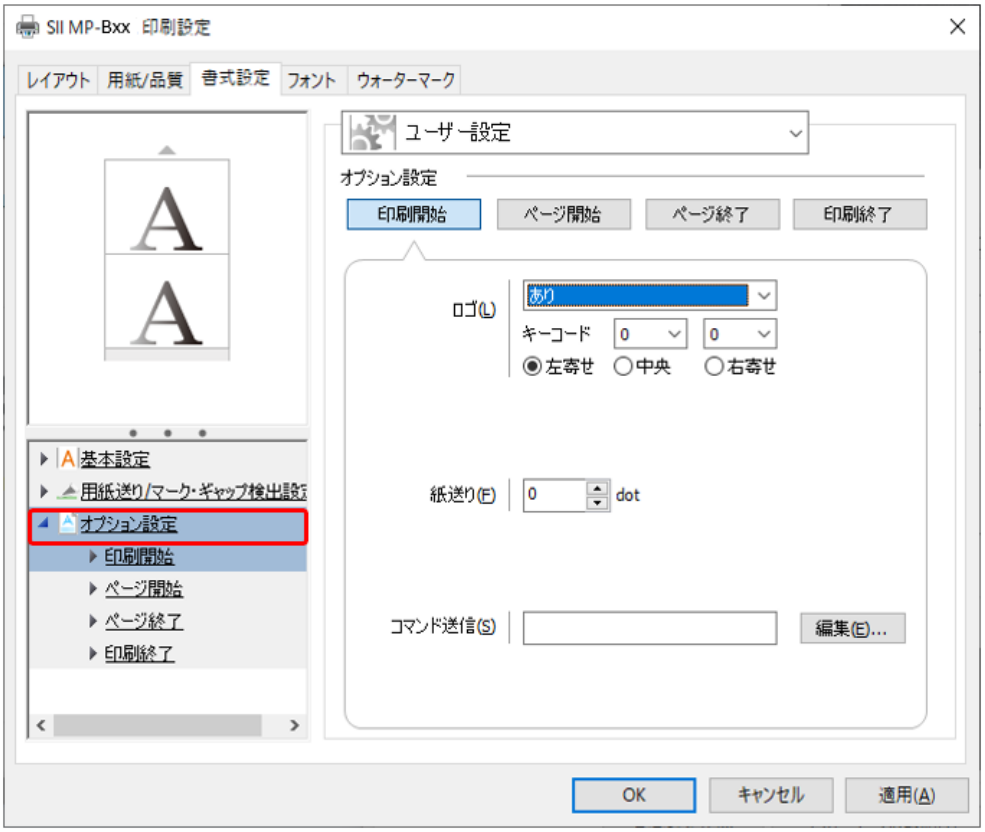


図 3-6 [オプション設定]画面

項目	説明（"　"：初期値）
オプション設定	ロゴ、紙送り、及びコマンド送信について設定します。
印刷開始 ページ開始 ページ終了 印刷終了	各タイミングでの動作を設定します。
ロゴ(L)	ロゴについて設定します。
ロゴ有無	ロゴの有無を選択します。 ・なし ・あり
キーコード	ロゴに使用するキーコードを選択します。 MP-B21L、MP-B30L、MP-B30 ・"　"(0x20, 0x20) ～ "99" (0x39, 0x39) （"00" (0x30, 0x30) ） MP-B20 ・"　"(0x30, 0x30) ～ "99" (0x39, 0x39) （"00" (0x30, 0x30) ）
ロゴ位置	ロゴを印刷する位置を選択します。 ・左寄せ ・中央 ・右寄せ

項目	説明（"　"：初期値）
紙送り(F)	紙送りの長さを設定します。（単位：dot） MP-B21L ・-28 ～ 255 (0) MP-B30L、MP-B30、MP-B20 ・0 ～ 255 (0)
コマンド送信(S)	送信するプリンターコマンドを設定します。
コマンドデータ	送信するプリンターコマンドを表示します。 入力には[編集(E)...]ボタンをクリックして表示されるバイナリエディターを使用します。
編集(E)...	バイナリエディターでプリンターコマンドを入力します。 入力したプリンターコマンドは[コマンドデータ]に表示されます。 指定可能バイト数は最大128バイトです。 バイナリエディターについては「3.3.8 バイナリエディターの使用方法」を参照してください。

参考

- ロゴ
  定型のイメージをロゴとして印刷する機能です。ロゴに使用するイメージはNVイメージを利用します。NVイメージについては、「SII Printer Setting Utility for Windows 取扱説明書」の「3.3.5 NVイメージ」を参照してください。

3.3.8 バイナリエディターの使用方法

プリンターコマンドや任意のデータを入力するコントロールでは、バイナリエディターを使用します。

バイナリエディターは下記の場合に使用します。

- [書式設定]の[オプション設定]の[コマンド送信(S)]
- [コントロールAフォント設定]
- [ユーティリティ]の[テスト印刷]の[カスタムコマンド(U)]の設定

[編集(E)...]ボタンをクリックし、下記の画面を表示してください。

16進数で入力し、[OK]ボタンをクリックすると入力が確定します。

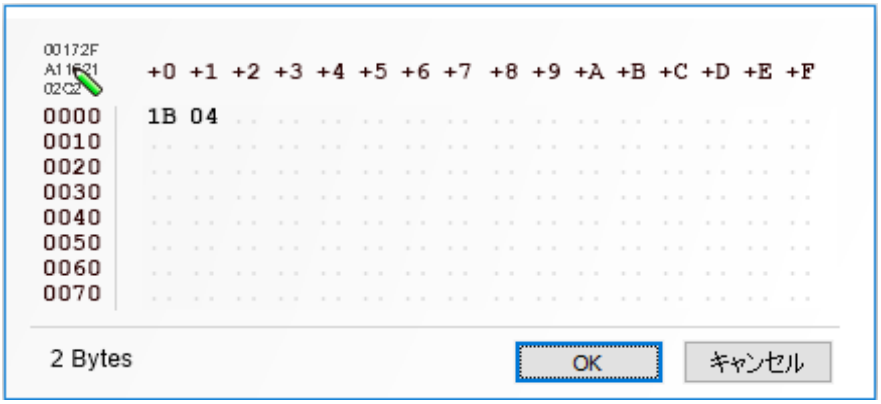


図 3-7 [バイナリエディター]画面

3.4 フォント

IPDフォントを設定します。

注意

◆ 下記の設定の場合、IPDフォントの設定は利用できません。

- 「3.1.1 レイアウトの設定」の[印刷の向き(O)] :「横」
- 「3.3.5 基本設定」の[方向(R)] :「逆」
- 「3.3.5 基本設定」の[縮小(E)] :「縮小しない」以外
- 「3.5.4 ウォーターマークの設定」の[イメージ(I)] :「NVイメージ」

参考

- IPDフォントについては、「6章 フォント」を参照してください。

3.4.1 フォントの設定

[フォント]タブを選択し、下記の画面を表示してください。

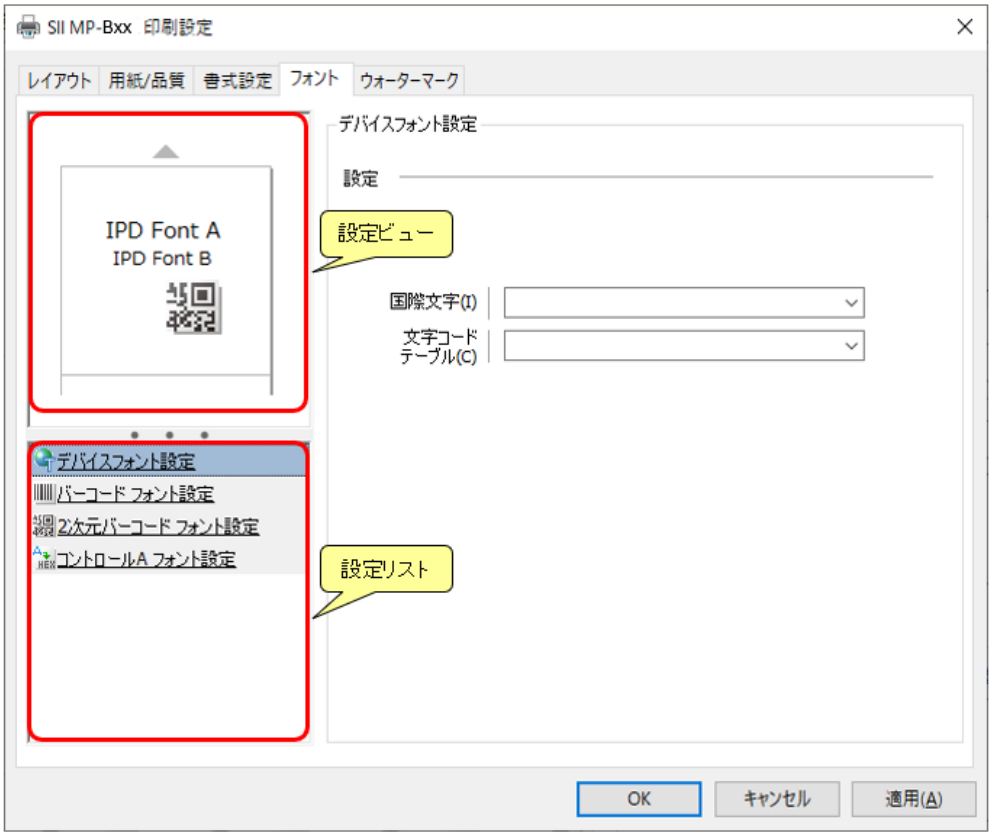


図 3-8 [フォント]画面

項目	説明
設定ビュー	現在の設定状況でIPDフォントが使用できるかをマークで表示します。 マークについては「3.4.2 設定ビューのマーク一覧」を参照してください。
設定リスト	フォントのカテゴリ名を表示します。 カテゴリ名を選択すると該当する設定画面を表示します。

3.4.2 設定ビューのマーク一覧

[フォント]画面の「設定ビュー」で表示されるマークは下記の通りです。

状況	マーク
IPDフォント使用可	
IPDフォント使用不可	

3.4.3 設定リストのカテゴリ

[フォント]画面の「設定リスト」で表示されるカテゴリは下記の通りです。

カテゴリ	説明
デバイスフォント設定	デバイスフォントで使用する国際文字と文字コードテーブルについて設定します。
バーコードフォント設定	バーコードフォントで使用する種別やバーコードのサイズ等について設定します。
2次元バーコードフォント設定	2次元バーコードフォントで使用する種別やバーコードのサイズ等について設定します。
コントロールAフォント設定	コントロールAフォントに割り当てるプリンターコマンドについて設定します。

各カテゴリの設定項目については、次項以降で説明します。

3.4.4 デバイスフォントの設定

「設定リスト」の[デバイスフォント設定]を選択し、下記の画面を表示してください。

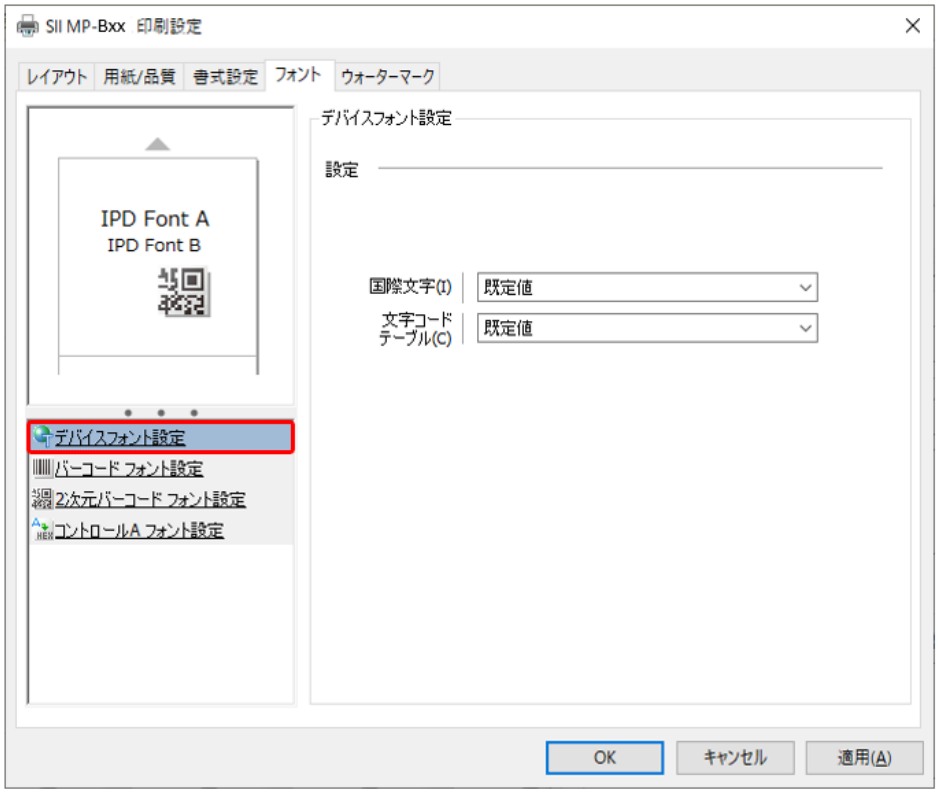


図 3-9 [デバイスフォント設定]画面(例)

注意

◆ プリンターがサポートする項目が表示されます。

項目	説明 (" ":初期値)
設定	デバイスフォントについて設定します。
国際文字(I)	国際文字を選択します。 ・ 既定値※1 ・ アメリカ(USA)※2 ・ フランス(France) ・ ドイツ(Germany) ・ イギリス(United Kingdom) ・ デンマークⅠ(Denmark I) ・ スウェーデン(Sweden) ・ イタリア(Italy) ・ スペインⅠ(Spain I) ・ 日本(Japan)

項目		説明 (″　″:初期値)
	国際文字(I)	・ ノルウェー(Norway) ・ デンマークⅡ (Denmark II) ・ スペインⅡ (Spain II) ・ ラテンアメリカ(Latin America) ・ アラビア(Arabia)
	文字コードテーブル(C)	文字コードテーブルを選択します。 ・ 既定値※1 ・ USA, Standard Europe (Code Page 437)※2 ・ Katakana ・ Multilingual (Code Page 850) ・ Portuguese (Code Page 860) ・ Canadian-French (Code Page 863) ・ Nordic (Code Page 865) ・ Turkish (Code Page 857) ・ Greek (Code Page 737) ・ Latin (Code Page 1252) ・ Russian (Code Page 866) ・ Eastern Europe (Code Page 852) ・ Euro (Code Page 858) ・ Cyrillic (Code Page 855) ・ Arabic (Code Page 864) ・ Central European (Code Page 1250) ・ Cyrillic (Code Page 1251) ・ Greek (Code Page 1253) ・ Turkish (Code Page 1254) ・ ユーザーページ

※1:　MP-B20 以外の初期値です。プリンターの設定に従います。MP-B20 はサポートしていません。
※2:　MP-B20 の初期値です。

3.4.5 バーコードフォントの設定

「設定リスト」の[バーコードフォント設定]を選択し、下記の画面を表示してください。

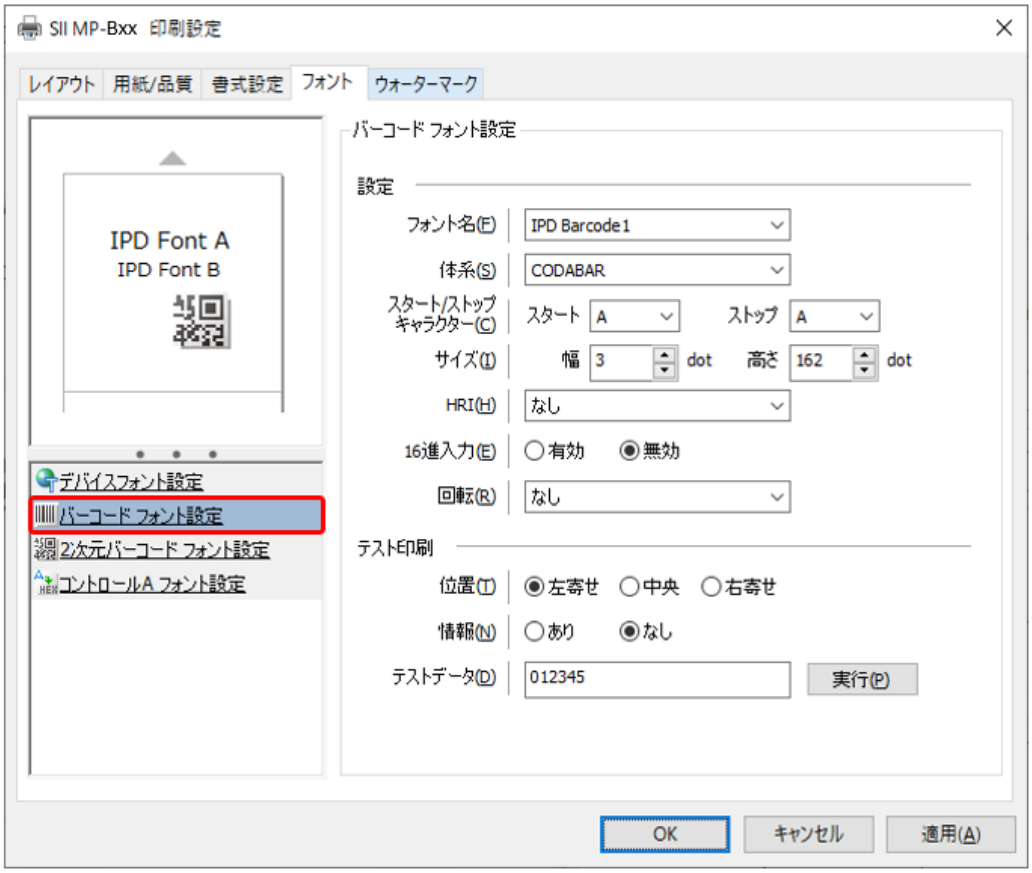


図 3-10 [バーコードフォント設定]画面

参考

- [設定]の表示内容は、選択するバーコードによって異なります。

項目	説明（"　"：初期値）
設定	バーコードフォントについて設定します。
フォント名(F)※1	フォント名を選択します。 ・IPD Barcode1 ・IPD Barcode2 ・IPD Barcode3 ・IPD Barcode4 ・IPD Barcode5 ・IPD Barcode6 ・IPD Barcode7 ・IPD Barcode8 ・IPD Barcode9 ・IPD Barcode10

項目		説明（"　"：初期値）
	体系(S)	バーコードの体系を選択します。 ・ UPC-A※2 ・ UPC-E※3 ・ JAN13 (EAN13)※4 ・ JAN8 (EAN8)※5 ・ Code39※6 ・ ITF※7 ・ CODABAR※8 ・ CODE128※9 ・ CODE93※10 ・ JAN13 (EAN13) add-on 2※11 ・ JAN13 (EAN13) add-on 5 ・ Customer Bar Code※12 ・ GS1 Databar Omni-directional ・ GS1 Databar Truncated ・ GS1 Databar Limited ・ GS1 Databar Expanded
	スタート/ストップ キャラクター(C)	「CODABAR」のスタートキャラクター/ストップキャラクターを設定します。
	スタート	スタートキャラクターを選択します。 ・ A ・ B ・ C ・ D
	ストップ	ストップキャラクターを選択します。 ・ A ・ B ・ C ・ D
	サイズ(I)	バーコードのサイズを設定します。
	幅	バーコードの細エレメント幅またはモジュール幅をドット単位で設定します。 MP-B21L、MP-B30L、MP-B30 ・ 2 ～ 6 (3) MP-B20 ・ 2 ～ 6 (2)

項目	説明（"　"：初期値）
高さ	バーコードの高さをドット単位で設定します。 ・1 ～ 255 (162) 下記のバーコードは[幅]の選択によって設定可能な範囲が異なります。 [高さ]の値を最小値未満に設定した場合は、値は自動的に最小値へ修正されます。 ➢ GS1 Databar Omni-directional ➢ GS1 Databar Truncated ➢ GS1 Databar Limited ➢ GS1 Databar Expanded

[体系(S)]	[幅]	[高さ]の値の範囲
GS1 Databar Omni-directional	2	66 ～ 255
	3	99 ～ 255
	4	132 ～ 255
	5	165 ～ 255
	6	198 ～ 255
GS1 Databar Truncated	2	26 ～ 255
	3	39 ～ 255
	4	52 ～ 255
	5	65 ～ 255
	6	78 ～ 255
GS1 Databar Limited	2	20 ～ 255
	3	30 ～ 255
	4	40 ～ 255
	5	50 ～ 255
	6	60 ～ 255
GS1 Databar Expanded	2	68 ～ 255
	3	102 ～ 255
	4	136 ～ 255
	5	170 ～ 255
	6	204 ～ 255

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th>説明（"　"：初期値）</th></tr>
<tr><td></td><td>ポイント</td><td>「Customer Bar Code」のバーの構成をポイントで選択します。
・4 ～ 11.5 (6)
下記にポイントによるバーの構成を示します。
<table>
<tr><th rowspan="2">イント</th><th colspan="5">構成(mm)</th></tr>
<tr><th>ロング
バー</th><th>タイミング
バー</th><th>バー
ピッチ</th><th>バー幅</th><th>バー
スペース</th></tr>
<tr><td>4 ～ 5</td><td>1.500
(12ドット)</td><td>0.500
(4ドット)</td><td>0.500
(4ドット)</td><td>0.250
(2ドット)</td><td>0.250
(2ドット)</td></tr>
<tr><td>5.5 ～ 6</td><td>1.875
(15ドット)</td><td>0.625
(5ドット)</td><td>0.625
(5ドット)</td><td>0.375
(3ドット)</td><td>0.250
(2ドット)</td></tr>
<tr><td>6.5 ～ 7</td><td>2.250
(18ドット)</td><td>0.750
(6ドット)</td><td>0.750
(6ドット)</td><td>0.375
(3ドット)</td><td>0.375
(3ドット)</td></tr>
<tr><td>7.5 ～ 8</td><td>2.625
(21ドット)</td><td>0.875
(7ドット)</td><td>0.875
(7ドット)</td><td>0.500
(4ドット)</td><td>0.375
(3ドット)</td></tr>
<tr><td>8.5 ～ 9</td><td>3.000
(24ドット)</td><td>1.000
(8ドット)</td><td>1.000
(8ドット)</td><td>0.500
(4ドット)</td><td>0.500
(4ドット)</td></tr>
<tr><td>9.5 ～ 10</td><td>3.375
(27ドット)</td><td>1.125
(9ドット)</td><td>1.125
(9ドット)</td><td>0.625
(5ドット)</td><td>0.500
(4ドット)</td></tr>
<tr><td>10.5 ～ 11.5</td><td>3.750
(30ドット)</td><td>1.250
(10ドット)</td><td>1.250
(10ドット)</td><td>0.625
(5ドット)</td><td>0.625
(5ドット)</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td></td><td>HRI(H)</td><td>バーコードに付加するHRI文字の位置及びフォントを選択します。
・なし
・バーコードの上(フォントA)
・バーコードの下(フォントA)
・バーコードの上下(フォントA)
・バーコードの上(フォントB)
・バーコードの下(フォントB)
・バーコードの上下(フォントB)</td></tr>
<tr><td></td><td>16進入力(E)</td><td>バーコードフォントデータまたは[テストデータ(D)]を16進数で入力する場合は、「有効」を選択します。※13
・有効
・無効</td></tr>
<tr><td></td><td>回転(R)</td><td>バーコードの印刷時の回転有無と回転時の角度を選択します。
・なし
・右に90度
・180度
・左に90度</td></tr>
<tr><td colspan="2">テスト印刷</td><td>テスト印刷について設定します。</td></tr>
<tr><td></td><td>位置(T)</td><td>バーコードの位置を選択します。
・左寄せ
・中央
・右寄せ</td></tr>
<tr><td></td><td>情報(N)</td><td>[設定]の情報を付加して印刷するか選択します。
・あり
・なし</td></tr>
<tr><td></td><td>テストデータ(D)</td><td>テスト印刷するデータを入力します。
入力可能文字数は最大64文字で、半角入力のみ有効です。</td></tr>
<tr><td></td><td>実行(P)</td><td>入力された設定・[テストデータ(D)]でバーコードを印刷します。
[テストデータ(D)]が空白の場合、操作できません。</td></tr>
</table>

※1: 選択する[フォント名(F)]により初期値として表示されるバーコードの体系が異なります。
[体系(S)]下記の項目の初期値は、選択された[フォント名(F)]に対応する初期値となります。
※2: [フォント名(F)]で「IPD Barcode1」を選択した場合の初期値です。
※3: [フォント名(F)]で「IPD Barcode2」を選択した場合の初期値です。
※4: [フォント名(F)]で「IPD Barcode3」を選択した場合の初期値です。
※5: [フォント名(F)]で「IPD Barcode4」を選択した場合の初期値です。
※6: [フォント名(F)]で「IPD Barcode5」を選択した場合の初期値です。
※7: [フォント名(F)]で「IPD Barcode6」を選択した場合の初期値です。
※8: [フォント名(F)]で「IPD Barcode7」を選択した場合の初期値です。
※9: [フォント名(F)]で「IPD Barcode8」を選択した場合の初期値です。
※10: [フォント名(F)]で「IPD Barcode9」を選択した場合の初期値です。
※11: [フォント名(F)]で「IPD Barcode10」を選択した場合の初期値です。
※12: MP-B21L のみサポートします。
※13: バーコードフォントデータの入力形式は下記の 2 種類です。
・CODE128 の「CODE C」以外のバーコードフォントデータの場合
バーコードフォントデータ(012345)入力例
[16 進入力(E)]が「無効」の場合 :012345
[16 進入力(E)]が「有効」の場合 :303132333435
・CODE128 の「CODE C」の場合
[16 進入力(E)]が「無効」の場合 :入力したい文字列に対応するコードを「表 A-1 CODE128 コードセット表」の[Code]から選択し、「表 A-3 キャラクタコード表」から、そのコードに対応する文字列を入力してください。
[16 進入力(E)]が「有効」の場合 :「表 A-1 CODE128 コードセット表」の[Code]を入力してください。

3.4.6　2次元バーコードフォントの設定

「設定リスト」の[2次元バーコードフォント設定]を選択し、下記の画面を表示してください。

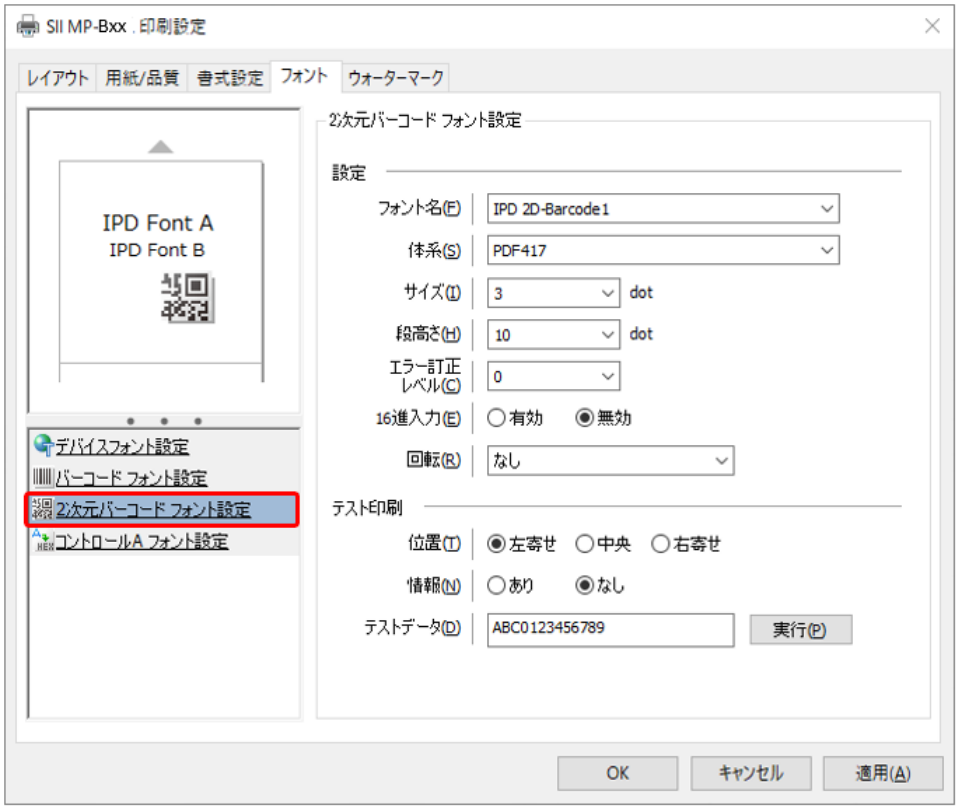


図 3-11 [2次元バーコードフォント設定]画面(例)

注意

◆ プリンターがサポートする項目が表示されます。

参考

• [設定]の表示内容は、選択するバーコードによって異なります。

項目	説明 (" ":初期値)
設定	2次元バーコードフォントについて設定します。
フォント名(F)※1	フォント名を選択します。 ・ IPD 2D-Barcode1 ・ IPD 2D-Barcode2 ・ IPD 2D-Barcode3 ・ IPD 2D-Barcode4 ・ IPD 2D-Barcode5

項目	説明（"　　":初期値）
体系(S)	2次元バーコードの体系を選択します。 ・QR Code Model-2※2 ・PDF417※3 ・Data Matrix※4 ・Maxi Code※5 ・Aztec Code※6 ・GS1 Databar Stacked※7 ・GS1 Databar Stacked Omni-directional ・GS1 Databar Expanded Stacked
サイズ(I)※8	1モジュールのサイズをドット単位で設定します。 ・2 ～ 16※9 (6) ・2 ～ 8※10 (3)
段高さ(H)	「PDF417」の段高さをドット単位で設定します。 ・ 2 ～ 127 (10) 「GS1 Databar Stacked Omni-directional」の段高さをドット単位で設定します。 ・33 ～ 255(33)
エラー訂正レベル(C)	「QR Code Model-2」のエラー訂正レベルを選択します。 ・L ・M ・Q ・H 「PDF417」のエラー訂正レベルを選択します。 ・0 ～ 8 (0) 「Aztec Code」のエラー訂正レベルを選択します。 ・Recommend (23%) ・5 ～ 95 (5 ～ 95%)
モード(M)	「Maxi Code」のモードを選択します。 ・Mode 2 ・Mode 3 ・Mode 4 ・Mode 5 「Aztec Code」のモードを選択します。 ・Full-range ・Compact
レイヤー数(L)	「Aztec Code」のレイヤー数を指定します。 ・Auto ・1 ～ 4(Compact) ・4 ～ 32(Full-range)

項目		説明（"　"：初期値）
	モジュール数(O)	「Data Matrix」のモジュール数を選択します。 ・Auto ・10×10 ・12×12 ・14×14 ・16×16 ・18×18 ・20×20 ・22×22 ・24×24 ・26×26 ・32×32 ・36×36 ・40×40 ・44×44 ・48×48 ・52×52 ・64×64 ・72×72 ・80×80 ・88×88 ・96×96 ・104×104 ・120×120 ・132×132 ・144×144 ・8×18 ・8×32 ・12×26 ・12×36 ・16×36 ・16×48
	セグメント数(G)	「GS1 Databar Expanded Stacked」のセグメント数を設定します。 ・2 ～ 20
	16進入力(E)	バーコードフォントデータまたは[テストデータ(D)]を16進数で入力する場合は、「有効」を選択します。※11 ・有効 ・無効
	回転(R)	2次元バーコードの印刷時の回転有無と回転時の角度を選択します。 ・なし ・右に90度 ・180度 ・左に90度

項目	説明（″　″:初期値）
テスト印刷	テスト印刷について設定します。
位置(T)	2次元バーコードの位置を選択します。 ・左寄せ ・中央 ・右寄せ
情報(N)	[設定]の情報を付加して印刷するか選択します。 ・あり ・なし
テストデータ(D)	テスト印刷するデータを入力します。 半角文字及び全角文字のいずれも64文字まで入力可能です。※11
実行(P)	入力された設定・[テストデータ(D)]で2次元バーコードを印刷します。 [テストデータ(D)]が空白の場合、操作できません。

※1: 選択する[フォント名(F)]により初期値として表示されるバーコードの体系が異なります。
[体系(S)]下記の項目の初期値は、選択された[フォント名(F)]に対応する初期値となります。
※2: [フォント名(F)]で「IPD 2D-Barcode1」を選択した場合の初期値です。
※3: [フォント名(F)]で「IPD 2D-Barcode2」を選択した場合の初期値です。
※4: [フォント名(F)]で「IPD 2D-Barcode3」を選択した場合の初期値です。
※5: [フォント名(F)]で「IPD 2D-Barcode4」を選択した場合の初期値です。
※6: MP-B21L、MP-B30L シリーズのみサポートします。
※7: [フォント名(F)]で「IPD 2D-Barcode5」を選択した場合の初期値です。
※8: [体系(S)]で下記を選択した場合のみ画面に表示されます。
- QR Code Model-2
- PDF417
- Data Matrix
- GS1 Databar Stacked
- GS1 Databar Stacked Omni-directional
- GS1 Databar Expanded Stacked

※9: [体系(S)]で下記を選択した場合の範囲です。
- QR Code Model-2
- Data Matrix
- Aztec Code
- GS1 Databar Stacked
- GS1 Databar Stacked Omni-directional
- GS1 Databar Expanded Stacked

※10: [体系(S)]で「PDF417」を選択した場合の範囲です。
※11: バーコードフォントデータの入力形式は下記の通りです。
バーコードフォントデータ(012345)入力例
[16 進入力(E)]が「無効」の場合　:012345
[16 進入力(E)]が「有効」の場合　:303132333435

3.4.7 コントロールAフォントの設定

「設定リスト」の[コントロールAフォント設定]を選択し、下記の画面を表示してください。

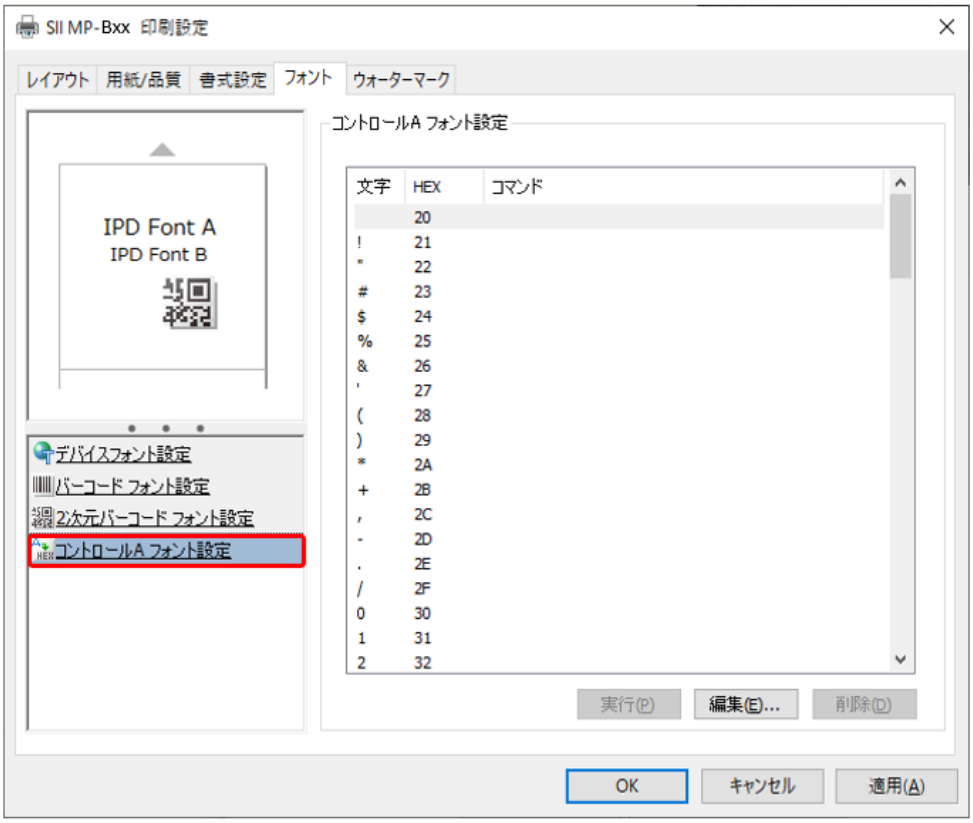


図 3-12 [コントロールAフォント設定]画面

項目	説明
文字	プリンターコマンドを割り当てる文字を表示します。
HEX	[文字]を16進数で表示します。
コマンド	設定されているプリンターコマンドを表示します。 プリンターコマンドの入力は[編集(E)...]ボタンをクリックして表示されるバイナリエディターを使用します。
実行(P)	選択中のリストに入力されているプリンターコマンドを実行します。 選択中のリストの[コマンド]が空白の場合は、操作できません。
編集(E)...	バイナリエディターでプリンターコマンドを入力します。※1 入力したプリンターコマンドは[コマンド]列に表示されます。 指定可能バイト数は最大256バイトです。 バイナリエディターについては「3.3.8 バイナリエディターの使用方法」を参照してください。
削除(D)	選択中のリストの[コマンド]欄をクリアします。※1 選択中のリストの[コマンド]が空白の場合は、操作できません。

※1: アプリケーションからの印刷時に起動された[印刷設定]画面からは操作できません。操作が必要な場合は、プリンターフォルダーから[印刷設定]画面を起動してください。

3.5 ウォーターマーク

印刷内容に重ねるイメージを設定します。

重ねるイメージはユーザーが事前にプリンターに登録したNVイメージを使用します。

ウォーターマークを利用するにはNVイメージの登録が必要です。NVイメージの登録については「SII Printer Setting Utility for Windows 取扱説明書」の「3.3.5 NVイメージ」を参照してください。

注意

◆ ウォーターマークとして使用するNVイメージが印刷領域よりも大きい場合、ウォーターマーク印刷はされません。

参考

- MP-B20はウォーターマークをサポートしていません。

3.5.1 ウォーターマーク

[ウォーターマーク]タブを選択し、下記の画面を表示してください。

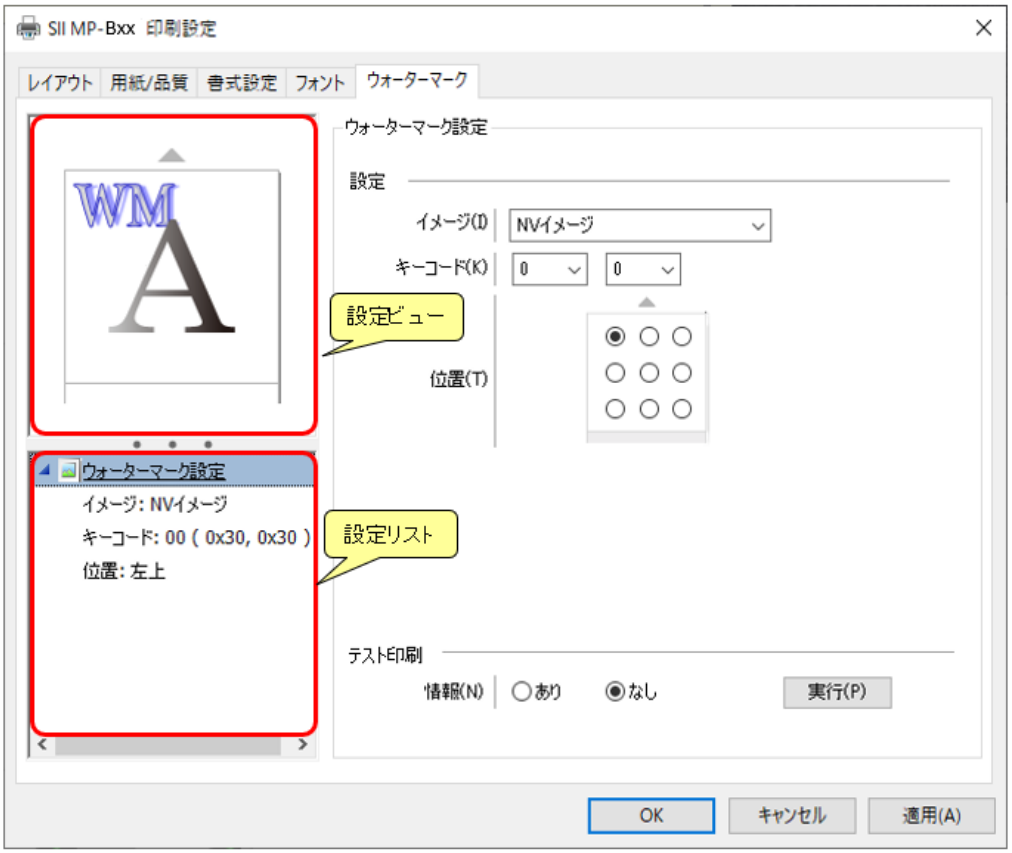


図 3-13 [ウォーターマーク]画面

項目	説明
設定ビュー	ウォーターマークの位置をマークで表示します。 詳しくは「3.5.2 設定ビューのマーク一覧」を参照してください。
設定リスト	ウォーターマークの設定をカテゴリで表示します。 カテゴリ名を選択すると、該当する設定画面を表示します。 表示されるカテゴリについては「3.5.3 設定リストのカテゴリ」を参照してください。 カテゴリの先頭の ▶ をクリックすると、カテゴリ内の項目を表示します。 設定が変更された項目は、変更が確定されるまで赤字で表示します。

3.5.2 設定ビューのマーク一覧

[ウォーターマーク]画面の[設定ビュー]で表示されるマークは下記の通りです。

項目	マーク		
位置(T)	 左上	 中央上	 右上
	 左	 中央	 右
	 左下	 中央下	 右下

3.5.3 設定リストのカテゴリ

[ウォーターマーク]画面の[設定リスト]で表示される設定は下記の通りです。

カテゴリ	説明
ウォーターマーク設定	ウォーターマークについて設定します。

ウォーターマーク設定については、次項以降で説明します。

3.5.4 ウォーターマークの設定

「設定リスト」の[ウォーターマーク設定]を選択し、下記の画面を表示してください。

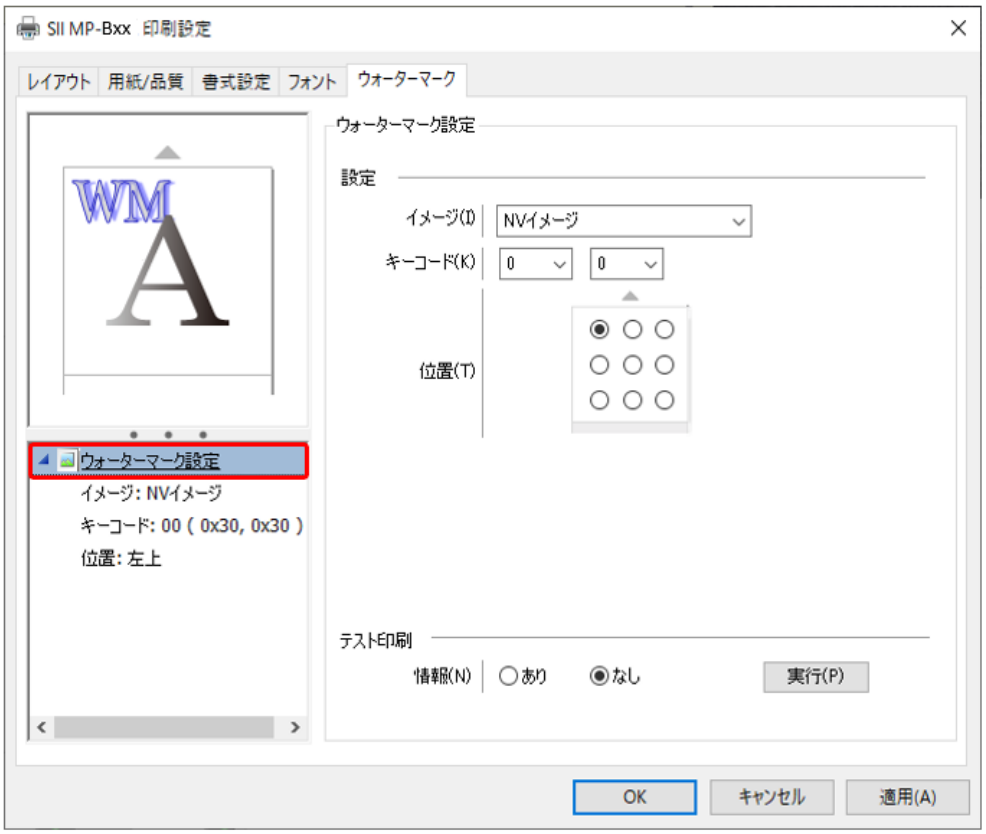


図 3-14 [ウォーターマーク設定]画面

項目	説明（"　"：初期値）
設定	ウォーターマークについて設定します。
イメージ(I)	ウォーターマークで使用するイメージの種類を設定します。※1 ・なし ・NVイメージ
キーコード(K)	ウォーターマークに使用するイメージのキーコードを選択します。※2 ・"　"(0x20, 0x20) ～ "99" (0x39, 0x39) （"00" (0x30, 0x30) ）
位置(T)	ウォーターマークの位置を選択します。※2 ・左上 ・中央上 ・右上 ・左 ・中央 ・右 ・左下 ・中央下 ・右下

項目	説明（″　″:初期値）
テスト印刷	テスト印刷について設定します。※2
情報(N)	[設定]の情報を付加して印刷するか選択します。 ・あり ・なし
実行(P)	入力された設定・データでウォーターマークを印刷します。

※1: 「無し」以外を選択すると、IPD フォントは使用できません。
※2: [イメージ(I)]を「なし」に選択している場合、表示されません。

3.5.5 ウォーターマークの利用

下記にウォーターマークを利用する手順について説明します。

1. ウォーターマークに使用するイメージを登録してください。NVイメージの登録については、「SII Printer Setting Utility for Windows 取扱説明書」の「3.3.5 NVイメージ」を参照してください。
2. [印刷設定]の[ウォーターマーク設定]画面の[イメージ(I)]で「NVイメージ」を選択してください。
3. [キーコード(K)]でウォーターマークに使用するイメージのキーコードを選択してください。
4. ウォーターマークの位置を[位置(T)]で選択してください。
5. [適用(A)]ボタンをクリックしてください。

3.6 詳細設定

3.6.1 詳細オプションの設定

[レイアウト]タブ及び[用紙/品質]タブの、右下の[詳細設定(V)...]ボタンをクリックし、下記の画面を表示してください。

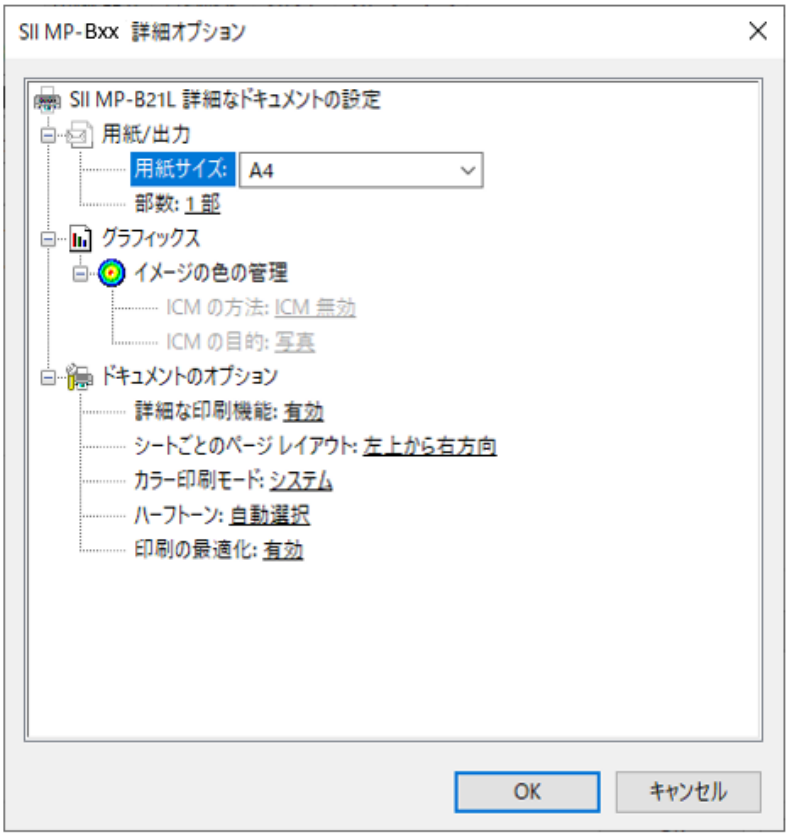


図 3-15 [詳細オプション]画面

項目	説明 (" ":初期値)
用紙/出力	用紙サイズ、部数を設定します。
用紙サイズ	使用する用紙サイズを選択します。※1 プリンター: MP-B21L 設定: ・58 mm (48 x 3276mm) ・58 mm (48 x 297mm) ・58 mm (46 x 3276mm) ・58 mm (46 x 297mm) ・50.8 mm (46 x 3276mm) ・50.8 mm (46 x 297mm) ・50.8 mm (44 x 3276mm) ・50.8 mm (44 x 297mm) ・25.4 mm (21 x 3276mm) ・25.4 mm (21 x 297mm) ・A4※2 ・Letter※3

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th>説明（"　"：初期値）</th></tr>
<tr><td></td><td>用紙サイズ</td><td>
<table>
<tr><th>プリンター</th><th>設定</th></tr>
<tr><td>MP-B30L</td><td>・80 mm (72 x 3276mm)
・80 mm (72 x 297mm)
・76.2 mm (72 x 3276mm)
・76.2 mm (72 x 297mm)
・76.2 mm (70 x 3276mm)
・76.2 mm (70 x 297mm)
・58 mm (54 x 3276mm)
・58 mm (54 x 297mm)
・58 mm (52 x 3276mm)
・58 mm (52 x 297mm)
・A4※2
・Letter※3</td></tr>
<tr><td>MP-B30</td><td>・80 mm (72 x 3276mm)
・80 mm (72 x 297mm)
・A4※2
・Letter※3</td></tr>
<tr><td>MP-B20</td><td>・58 mm (48 x 3276mm)
・A4※2
・Letter※3</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td></td><td>部数</td><td>印刷する部数を入力します。(単位：部)
・1 ～ 9999</td></tr>
<tr><td colspan="2">グラフィックス</td><td>ICMの方法、目的を設定します。「3.2 用紙/品質」の[色]で「カラー(O)」を選択した場合のみ設定できます。</td></tr>
<tr><td></td><td>ICMの方法</td><td>ICMの方法を選択します。
・ICM無効
・ホストシステムによるICM処理
・プリンターによるICM処理</td></tr>
<tr><td></td><td>ICMの目的</td><td>ICMの目的を選択します。
・グラフィック
・写真
・校正
・一致</td></tr>
<tr><td colspan="2">ドキュメントのオプション</td><td>ドキュメントのオプションを設定します。</td></tr>
<tr><td></td><td>詳細な印刷機能</td><td>詳細な印刷機能を選択します。
・有効
・無効</td></tr>
<tr><td></td><td>シートごとの
ページレイアウト</td><td>シートごとのページレイアウトを選択します。
・左上から右方向
・左上から下方向
・右上から左方向
・右上から下方向</td></tr>
<tr><td></td><td>カラー印刷モード</td><td>カラー印刷モードを選択します。
・システム
・ドライバー
この選択は「3.2 用紙/品質」の[色]の設定と連動しています。※4</td></tr>
</table>

項目		説明（″　″:初期値）
	ハーフトーン	ハーフトーンを選択します。 ・ 自動選択 ・ スーパーセル ・ ディザー 2x2 ・ ディザー 4x4 ・ ディザー 6x6 ・ ディザー 8x8 「3.2 用紙/品質」の[色]で「カラー(O)」を選択した場合は、「自動選択」以外は選択できません。
	印刷の最適化	印刷の最適化を選択します。 ・ 有効 ・ 無効

※1: ユーザーが新規に登録した用紙を設定することもできます。用紙を登録する方法については、「5.3 カスタム用紙の登録方法」を参照してください。
※2: 日本語環境での初期値です。
※3: 日本語環境以外での初期値です。
※4: 「システム」を選択した場合は[用紙/品質]タブの[色]が「白黒(C)」、「ドライバー」を選択した場合は[用紙/品質]タブの[色]が「カラー(O)」に連動します。詳しくは、「3.2 用紙/品質」を参照してください。

4章　プリンターのプロパティ

本章ではプリンターのプロパティについて説明します。

プリンターのプロパティは[プリンターのプロパティ]画面の各種タブから、それぞれ確認及び変更ができます。

[プリンターのプロパティ]画面は下記の手順で表示できます。

1. [プリンターフォルダー]内に表示されているプリンターアイコンを右クリックしてサブメニューを表示してください。
2. 表示されたサブメニューから[プリンターのプロパティ(P)]を選択してください。

[プリンターのプロパティ]画面で表示されるタブには下記の種類があります。

- [全般]タブ　：　プリンタードライバー全般の管理、及びテストページを印刷します。
- [共有]タブ　：　共有プリンターを設定します。
- [ポート]タブ　：　出力ポートを設定します。
- [デバイスの設定]タブ　：　デバイスを設定します。
- [ユーティリティ]タブ　：　プリンタードライバーのバージョン情報と各種ユーティリティの起動ボタンを表示します。

注意

◆ [プリンターのプロパティ]画面において、上記に記載したタブ以外に表示されているタブは、インストール時の設定のままで使用してください。

各画面の詳細は次項以降で説明します。

4.1 全般設定

プリンタードライバー全般の管理、及びテストページを印刷します。

[全般]タブを選択し、下記の画面を表示してください。



図 4-1 [全般]画面

項目	説明
プリンター名	プリンター名を表示、変更します。※1
場所(L)	プリンターの設置場所を入力します。
コメント(C)	コメントを入力します。
モデル(O)	ドライバー名を表示します。
基本設定(E)...	[印刷設定]画面が開きます。
テストページの印刷(T)	Windowsのテスト印刷を実行します。※2

※1: プリンター名を変更した場合、[基本設定(E)...]で設定していた値は初期化される場合があります。
※2: 印刷内容が印字幅で切れてしまうため、小型プリンター向け用紙幅では正しく印刷できませんが、不具合ではありません。

4.2 共有設定

共有プリンターを設定します。

[共有]タブを選択し、下記の画面を表示してください。

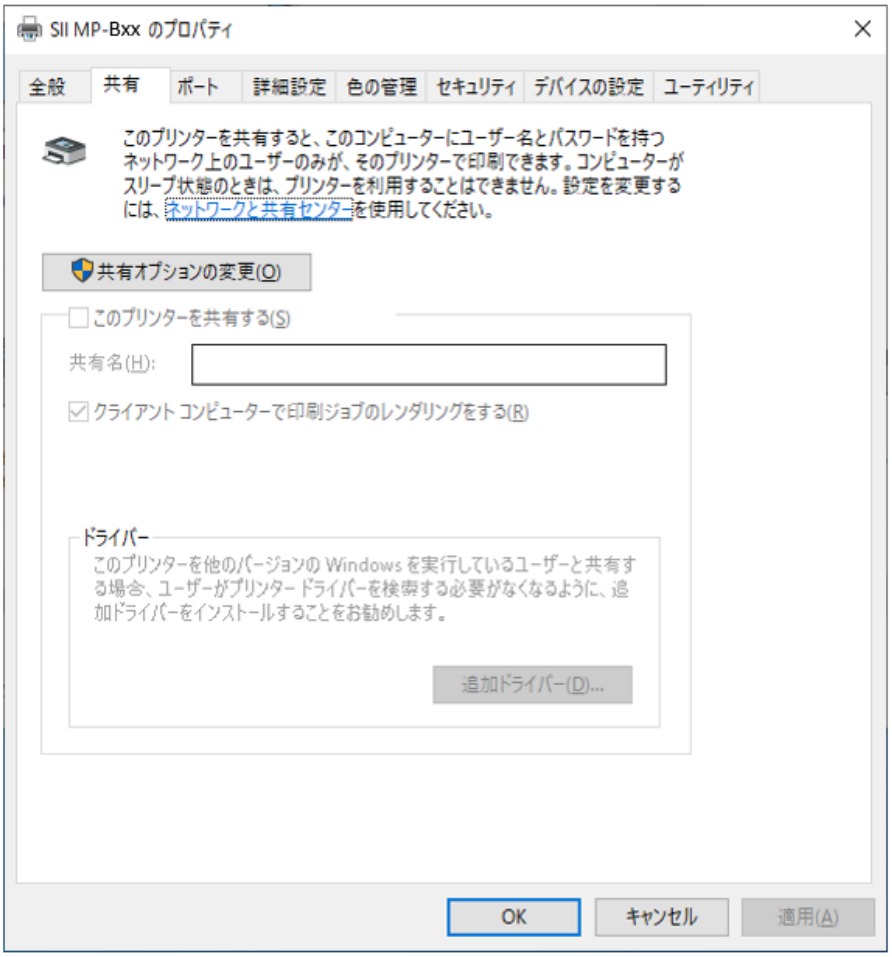


図 4-2 [共有]画面

項目		説明
このプリンターを共有する(S)		チェックボックスをオンにして、[共有名(H)]に任意の共有名を入力するとプリンタードライバーをネットワーク上の別のコンピューターから利用できます。
	共有名(H)	プリンターの共有名を入力します。
	追加ドライバー(D)...	この機能はサポートしていません。

注意

◆共有プリンターでの使用は、ネットワークの利用状況等により正常に動作しないことがあります。

4.3 ポート設定

出力ポートを設定します。

[ポート]タブを選択し、下記の画面を表示してください。

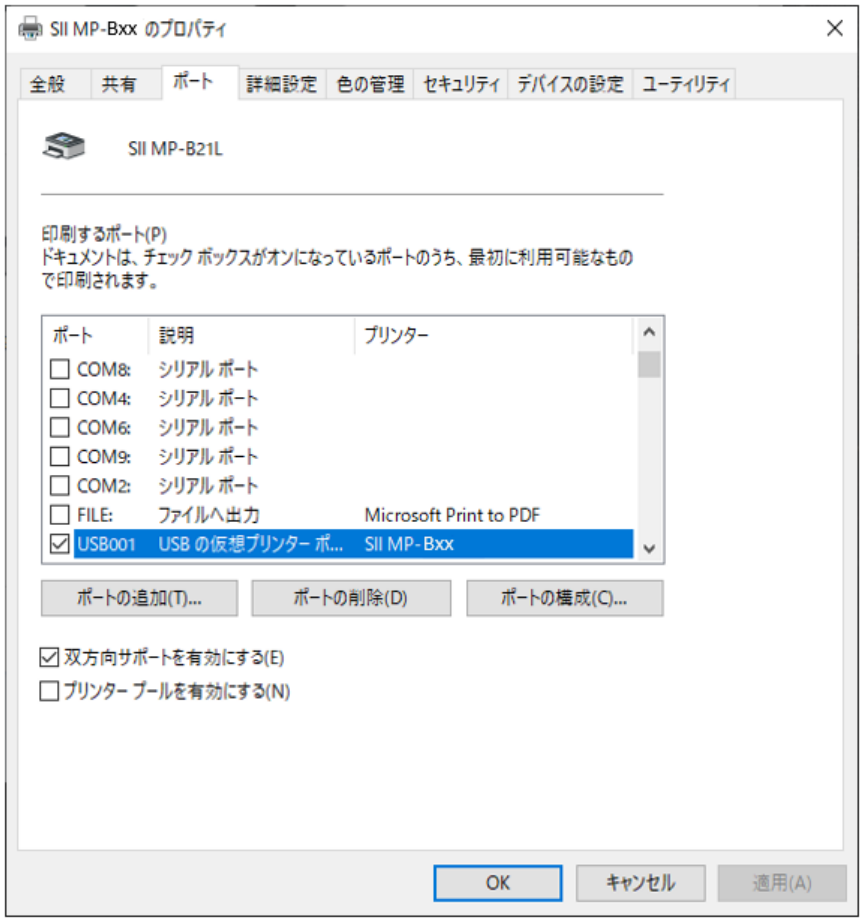


図 4-3 [ポート]画面

項目	説明
ポートの追加(T)...	ポートを追加できます。
ポートの削除(D)	ポートを削除できます。
ポートの構成(C)...	シリアル接続時の通信について設定します。 設定にはコンピューターの管理者権限が必要です。
双方向サポートを有効にする(E)	プリンターから情報を取得するにはチェックボックスをオンにします。 SDKを利用する場合は、必ずチェックボックスをオンにしてください。
プリンタープールを有効にする(N)	有効にすることで複数のポートのチェックボックスをオンにできるようになり、各ポートに接続しているプリンターで同じ内容を印刷できます。 SDKを利用する場合は、必ずチェックボックスをオフにしてください。

4.4 デバイスの設定

デバイスを設定します。

[デバイスの設定]タブを選択し、下記の画面を表示してください。

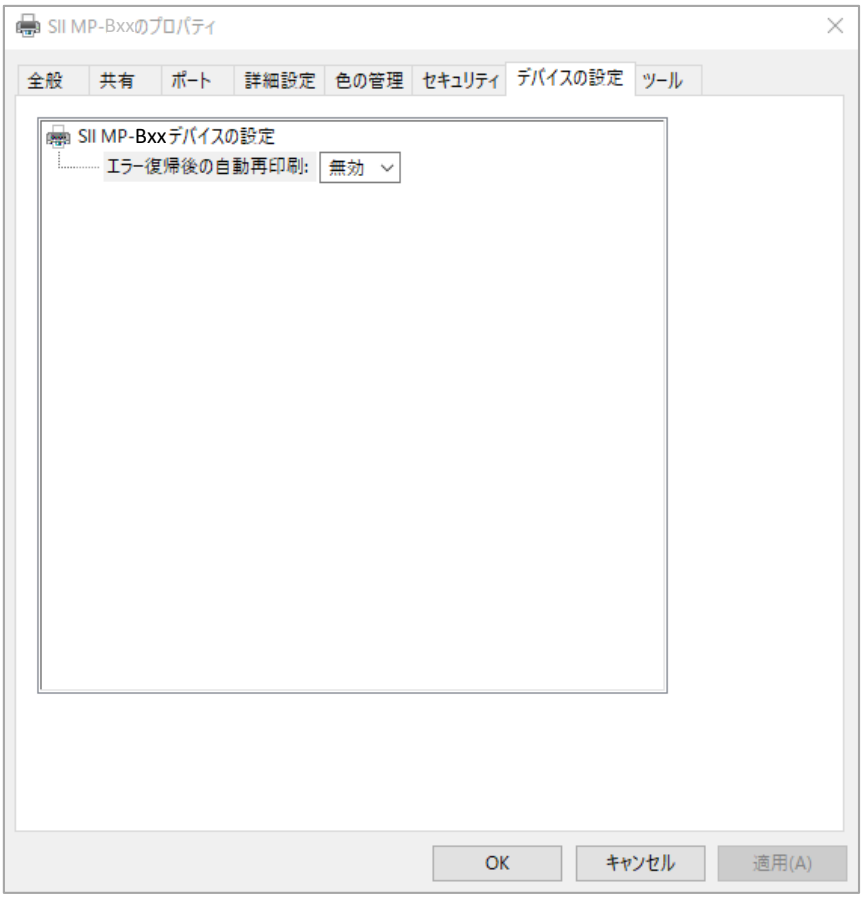


図 4-4 [デバイスの設定]画面

項目	説明
エラー復帰後の自動再印刷	有効にすることで、プリンタが印刷中に印刷不可のステータスになると、プリンタが印刷可能なステータスに復帰した際に、自動で再印刷を行います。

4.5 ユーティリティ/ツール

プリンタードライバーのバージョン情報と各種ユーティリティの起動ボタンを表示します。

MP-B21L、MP-B30L、MP-B30は、Printer Setting Utilityの各種ユーティリティ及びLog Setting Utilityが選択できます。
[ユーティリティ]タブを選択し、下記の画面を表示してください。



図 4-5 [ユーティリティ]画面(MP-B21L、MP-B30L、MP-B30)

MP-B20は、Printer Setting Utilityの各種ユーティリティが選択できます。
[ツール]タブを選択し、下記の画面を表示してください。



図 4-6 [ツール]画面(MP-B20)

項目	説明
バージョン情報	プリンタードライバーのファイル情報を表示します。
バージョン	プリンタードライバーのバージョンを表示します。
ファイルバージョン	プリンタードライバーを構成する各プログラムのファイルバージョンを表示します。
各種ユーティリティ	各ボタンをクリックすると、それぞれのユーティリティが起動します。
プリンター情報(I)	プリンターの各種情報を表示します。
メモリスイッチ(M)	メモリスイッチを設定します。
印刷ジョブ(J)	ジョブ単位の印刷データ出力を設定します。
ログ(L)	プリンタードライバーのログ及びジョブ単位の印刷データ出力を設定します。
テスト印字(T)	任意の内容でテスト印刷を実行します。
NVイメージ(N)	ロゴまたはウォーターマークで使用するイメージデータの編集、登録、または登録されているNVイメージを管理します。
コードページ(C)	文字コードテーブルのユーザーページにおけるフォントデータの編集、登録、または登録されているコードページを管理します。
その他(O)	本ソフトウェアの設定内容をファイルにエクスポート、またはエクスポートしたファイルをインポートします。また、その他のプリンターの機能を実行します。
ログ(L)	ログ設定ユーティリティを起動します。ログ設定ユーティリティの利用方法は、「SII Log Setting Utility for Windows 取扱説明書」を参照してください。

各種ユーティリティの起動ボタンをクリックすると、ユーティリティ設定画面が表示されます。

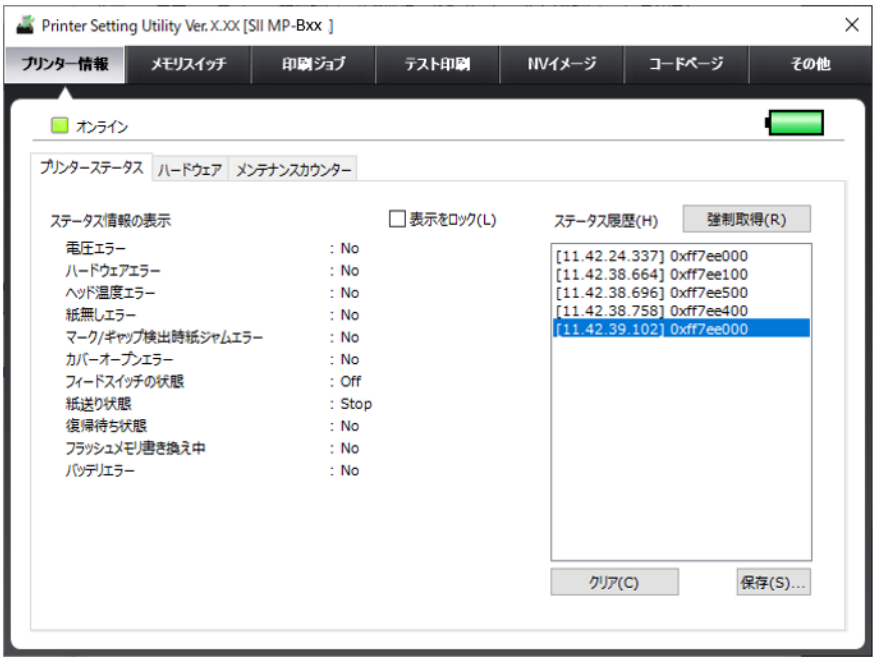


図 4-7 [ユーティリティ設定]画面(例)

各種ユーティリティの機能については、「SII Printer Setting Utility for Windows 取扱説明書」を参照してください。

5章　用紙設定

本章では用紙設定について説明します。

本章で使用する用語について下記に記載します。

用語	内容
高さ(用紙高さ)	紙排出方向を縦とした場合の縦方向のサイズ
幅(用紙幅)	紙排出方向を縦とした場合の横方向のサイズ
出力用紙サイズ	実際に出力される用紙(ロール紙)サイズ
用紙サイズ	プリンタードライバー上で指定する、印刷可能領域のサイズ
標準用紙	インストール時にあらかじめ登録される用紙サイズ
カスタム用紙	ユーザーが新規に登録可能な用紙サイズ

注意

- ◆ カスタム用紙を登録する際に指定するサイズは、出力用紙のサイズではなく用紙サイズ(印刷可能領域のサイズ)を指定します。
- ◆ A4、Letter以外の標準用紙の名称は「出力用紙の幅」となっていますが、用紙サイズと一致するものではありません。

下記に印刷イメージ図を示します。

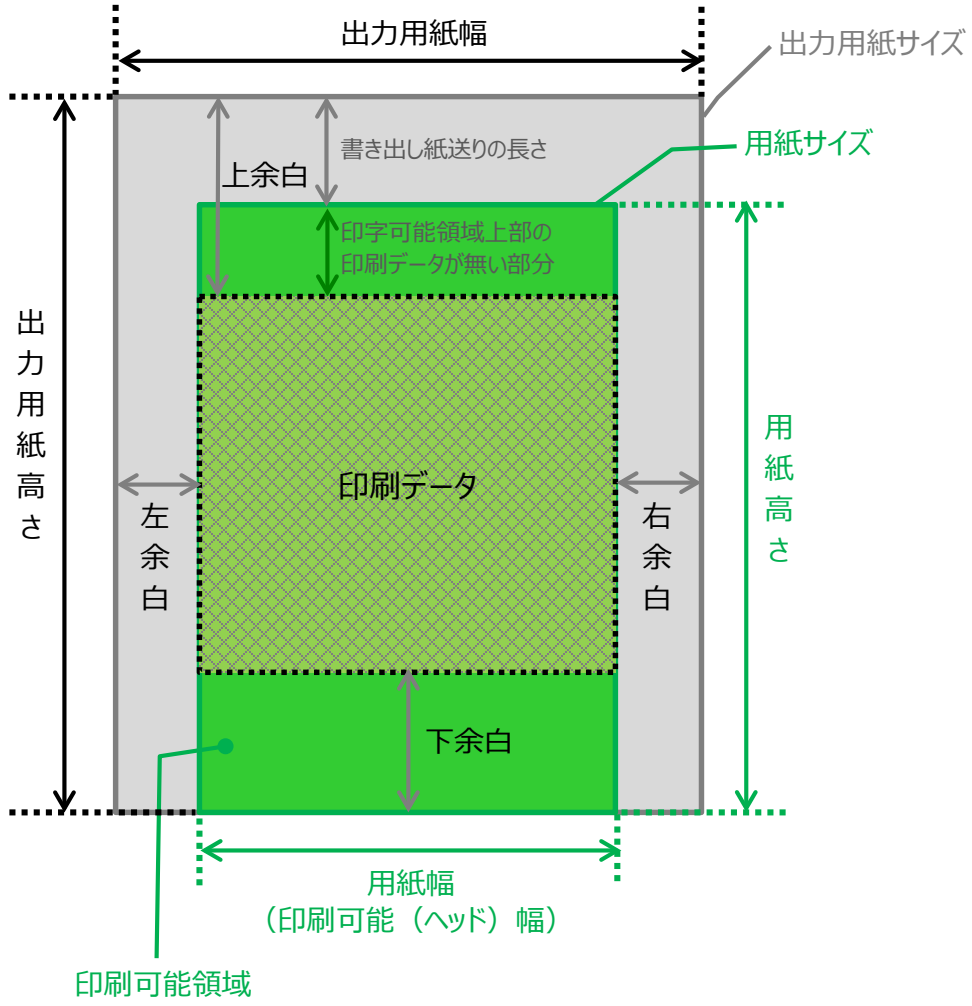


図 5-1 印刷イメージ図

上記イメージは印刷イメージであり、印字終了位置は「3.3.6 用紙送り/マーク・ギャップ検出/マーク紙設定」の[カット位置まで紙送り(F)]の設定により異なります。

5.1 用紙サイズ

使用する出力用紙の幅で使用できる用紙サイズの組合せは下記の通りです。

ドライバー名	出力用紙幅	用紙種類	用紙名称	用紙サイズ/範囲	
				幅	高さ
SII MP-B21L	58 mm	標準用紙	58 mm (48x3276mm)	48 mm	3276 mm
			58 mm (48x297mm)	48 mm	297 mm
			58 mm (46x3276mm)	46 mm	3276 mm
			58 mm (46x297mm)	46 mm	297 mm
			A4	210 mm	297 mm
			Letter	215.9 mm	279.4 mm
		カスタム用紙	-	25.6 ～ 48 mm	25 ～ 3276 mm
	50.8 mm	標準用紙	50.8 mm (46x3276mm)	46 mm	3276 mm
			50.8 mm (46x297mm)	46 mm	297 mm
			50.8 mm (44x3276mm)	44 mm	3276 mm
			50.8 mm (44x297mm)	44 mm	297 mm
			A4	210 mm	297 mm
			Letter	215.9 mm	279.4 mm
		カスタム用紙	-	25.6 ～ 48 mm	25 ～ 3276 mm
	25.4 mm	標準用紙	25.4 mm (21x3276mm)	21 mm	3276 mm
			25.4 mm (21x297mm)	21 mm	297 mm
			A4	210 mm	297 mm
			Letter	215.9 mm	279.4 mm
		カスタム用紙	-	25.6 ～ 48 mm	25 ～ 3276 mm

ドライバー名	出力用紙幅	用紙種類	用紙名称	用紙サイズ/範囲	
				幅	高さ
SII MP-B30 SII MP-B30L	80 mm	標準用紙	80 mm (72x3276mm)	72 mm	3276 mm
			80 mm (72x297mm)	72 mm	297 mm
			A4	210 mm	297 mm
			Letter	215.9 mm	279.4 mm
		カスタム用紙	-	25.6 mm ～ 72 mm	30 mm ～ 3276 mm
SII MP-B30L	76.2 mm	標準用紙	76.2 mm (72x3276mm)	72 mm	3276 mm
			76.2 mm (72x297mm)	72 mm	297 mm
			76.2 mm (70x3276mm)	70 mm	3276 mm
			76.2 mm (70x297mm)	70 mm	297 mm
			A4	210 mm	297 mm
			Letter	215.9 mm	279.4 mm
		カスタム用紙	-	25.6 mm ～ 72 mm	30 mm ～ 3276 mm

ドライバー名	出力 用紙幅	用紙種類	用紙名称	用紙サイズ/範囲	
				幅	高さ
SII MP-B30L	58 mm	標準用紙	58 mm (54x3276mm)	54 mm	3276 mm
			58 mm (54x297mm)	54 mm	297 mm
			58 mm (52x3276mm)	52 mm	3276 mm
			58 mm (52x297mm)	52 mm	297 mm
			A4	210 mm	297 mm
			Letter	215.9 mm	279.4 mm
		カスタム用紙	-	25.6 mm ～ 72 mm	30 mm ～ 3276 mm

ドライバー名	出力 用紙幅	用紙種類	用紙名称	用紙サイズ/範囲	
				幅	高さ
SII MP-B20	58 mm	標準用紙	58 mm (48x3276mm)	48 mm	3276 mm
			A4	210 mm	297 mm
			Letter	215.9 mm	279.4 mm
		カスタム用紙	-	25.6 ～ 48 mm	30 ～ 3276 mm

用紙サイズは下記を指定してください。

- 用紙幅　　= 出力用紙幅 - 左余白 - 右余白
- 用紙高さ　　= 出力用紙高さ - 書き出し紙送りの長さ

余白、及び書き出し紙送りの長さについては、「5.2 余白」を参照してください。

5.2 余白

下記に余白サイズについて説明します。

以降の説明では、「3.1.1 レイアウトの設定」の[印刷の向き(O)]が「縦」、「3.3.5 基本設定」の[方向(R)]が「順」となっていることを前提として説明します。

用紙幅方向の余白は下記の通りです。

左余白

下記の左余白が発生します。

ドライバー名	出力用紙幅	用紙幅	左余白
SII MP-B30 SII MP-B30L	80 mm	72 mm	4 mm
SII MP-B30L	76.2 mm	72 mm	2.1 mm
		70 mm	3.1 mm
SII MP-B30L	58 mm	54 mm	2 mm
		52 mm	3 mm
SII MP-B21L SII MP-B20		48 mm	5 mm
SII MP-B21L		46 mm	6 mm
SII MP-B21L	50.8 mm	46 mm	2.4 mm
		44 mm	3.4 mm
	25.4 mm	21 mm	2.2 mm

右余白

下記の右余白が発生します。

右余白 = 出力用紙幅 − 用紙幅 − 左余白

上余白

上余白とは、下記の書き出し紙送りの長さと、印刷可能領域上部の印刷データが無い部分が含まれます。該当箇所については、図 5-1を参照してください。

カット位置まで紙送り	書き出し紙送りの長さ
する	カット位置～印字開始位置の長さ※1
しない	なし※2

※1: 各製品の「技術説明書」の感熱紙仕様を参照してください。
※2: 印刷下部が切れる場合があります。

下余白

下余白とは、印刷可能領域下部の印刷データが無い部分です。

「3.3.5 基本設定」の[余白(M)]の選択による動作は下記の通りです。

- 下余白最小 : 選択された用紙高さに関係なくイメージの終端まで紙送りをします。
- 最大余白 : 選択された用紙高さまで紙送りをします。
  ただし、用紙の紙送りの長さは、印刷するデータを含む用紙高さを上限とします。

注意

◆ 「3.3.6 用紙送り/マーク・ギャップ検出/マーク紙設定」の[カット位置まで紙送り(F)]を「しない」に設定した場合、書き出し紙送りの長さ分、印刷可能領域の内側で印刷が終了します。

◆ 用紙サイズの内容に対し用紙高さについてはプリンターの機構上、若干の誤差が生じる場合があります。

◆ ロゴの印刷、紙送り、カット位置まで紙送り、カスタムコマンドによる印刷は、送信するデータの内容により、指定した用紙サイズより長く印刷、または紙送りされる場合があります。

参考

- 紙送りを行う場合、紙送りの長さに若干の誤差が生じる場合があります。
- ユーザーが新規に用紙を登録する方法については、「5.3 カスタム用紙の登録方法」を参照してください。
- マーク紙を利用する場合は、プリンター側の最大余白サイズは「5.2 余白」の上余白、及び下余白と異なります。

5.3 カスタム用紙の登録方法

下記にカスタム用紙の登録手順の一例を示します。

1. [プリント サーバーのプロパティ]画面の[用紙]タブを選択してください。
2. [新しい用紙を作成する(C)]のチェックボックスをオンにしてください。
3. [用紙名(N)]に用紙名を入力してください。
4. [単位]の「メートル法(M)」を選択してください。
5. [用紙サイズ]の[幅(W)]にカスタム用紙の用紙幅を入力してください。
6. [用紙サイズ]の[高さ(H)]にカスタム用紙の用紙高さを入力してください。
7. [用紙の保存(S)]ボタンをクリックしてください。

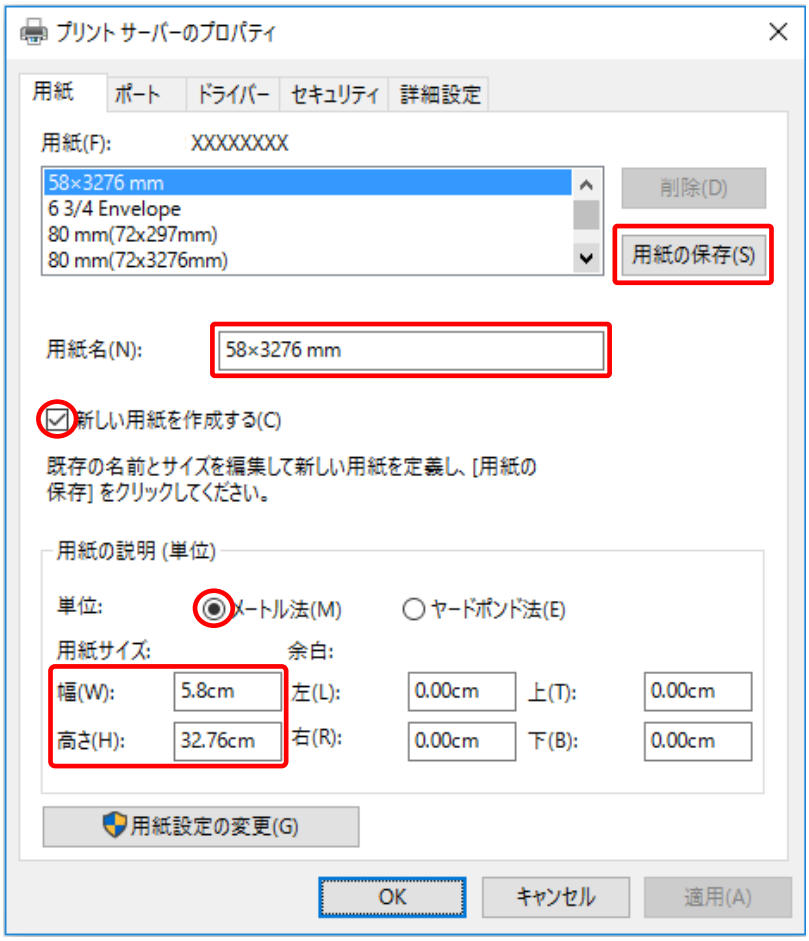


図 5-2 [プリント サーバーのプロパティ]画面

注意

- ◆ カスタム用紙の登録にはコンピューターの管理者権限が必要です。
- ◆ カスタム用紙は「5.1 用紙サイズ」の[用紙サイズ/範囲]を考慮して登録してください。[用紙]上に表示されている用紙の中で「5.1 用紙サイズ」の[用紙サイズ/範囲]に記載された内容に該当する用紙のみプリンタードライバーで利用できます。

6章　フォント

本章ではフォント印刷機能について説明します。

プリンタードライバーで扱うことのできるフォントの種類には下記の種類があります。

- TrueTypeフォント　：Windowsに搭載されているフォントです。
- デバイスフォント　：プリンターに搭載されているフォントです。
- バーコードフォント　：プリンターでバーコードを印刷するための特殊フォントです。
- 2次元バーコードフォント　：プリンターで2次元バーコードを印刷するための特殊フォントです。
- コントロールフォント　：あらかじめ登録されているプリンターコマンドを使用するための特殊フォントです。
- コントロールAフォント　：ユーザーが登録したプリンターコマンドを使用するための特殊フォントです。

参考

- TrueTypeフォント
  TrueTypeフォントでは、斜体など文字修飾やフォントサイズを自由に変更できます。また、ほぼ画面イメージ通りの印刷が可能です。
  TrueTypeフォントの印刷はイメージデータとして印刷されます。

注意

◆ IPDフォントを使用する場合、下記の設定にしてください。
- 「3.1.1 レイアウトの設定」の[印刷の向き(O)]　:「縦」
- 「3.3.5 基本設定」の[方向(R)]　:「順」
- 「3.3.5 基本設定」の[縮小(E)]　:「縮小しない」
- 「3.5.4 ウォーターマークの設定」の[イメージ(I)]　:「なし」

◆ 特殊フォントは、プレビューや編集画面ではイメージとして表示されません。

◆ 特殊フォントを使用すると、指定した用紙サイズより長く印刷されることがあります。

◆ 1行の中にデバイスフォントとバーコードフォント、2次元バーコードフォントは並べて印刷できません。

◆ 1行の中にTrueTypeフォントとIPDフォントは並べて印刷できません。

◆ 1行の中にイメージとIPDフォントは並べて印刷できません。

6.1 デバイスフォント

デバイスフォントとは、プリンターに内蔵されているフォントセットです。TrueTypeフォントよりも高速で印刷できます。

漢字コード体系は、使用している言語環境によって異なります。

Windows OS	システムロケール	漢字コード体系
日本語	日本語（日本）	シフトJISコード
	日本語（日本）以外	JISコード
日本語以外	日本語（日本）	シフトJISコード
	日本語（日本）以外	JISコード

文字列のエンコードは、[印刷設定ダイアログ] - [フォント]タブの[デバイスフォント設定]の選択によって異なります。
[デバイスフォント設定]の「文字コードテーブル(C)」が[既定値]の場合は、文字列のエンコードは、システムで現在有効になっているANSIコードページで行われます。
[デバイスフォント設定]の「文字コードテーブル(C)」が[既定値]以外の場合は、文字列のエンコードは、[デバイスフォント設定]で選択しているコードページで行われます。コードページの詳細は、「3.4.4 デバイスフォントの設定」を参照してください。

注意

- ◆ 文字に斜体を指定しても反映されません。
- ◆ 文字にアンダーラインを指定した場合は、デバイスフォントのアンダーラインで印刷されるため、アンダーラインの位置や線種は固定です。

6.1.1 デバイスフォントの種類の選択

デバイスフォントの種類は下記の通りです。

フォント名	フォントサイズ	文字セット	説明	
IPD Font A※1	8.5ポイント	欧文	24x12	標準フォント
	17ポイント		24x12	縦倍角フォント
IPD Font A Wide※1	8.5ポイント		24x12	横倍角フォント
	17ポイント		24x12	4倍角フォント
IPD Font B※1	5.5ポイント		16x8	標準フォント
	11.5ポイント		16x8	縦倍角フォント
IPD Font B Wide※1	5.5ポイント		16x8	横倍角フォント
	11.5ポイント		16x8	4倍角フォント

フォント名	フォントサイズ	文字セット	説明	
IPD Font A Japanese※2	8.5ポイント	日本語	24x12	標準フォント
	17ポイント		24x12	縦倍角フォント
IPD Font A Wide Japanese※2	8.5ポイント		24x12	横倍角フォント
	17ポイント		24x12	4倍角フォント
IPD Font B Japanese※2	5.5ポイント		16x8	標準フォント
	11.5ポイント		16x8	縦倍角フォント
IPD Font B Wide Japanese※2	5.5ポイント		16x8	横倍角フォント
	11.5ポイント		16x8	4倍角フォント

※1: 日本語環境では表示されません。
※2: 日本語環境以外では表示されません。

6.1.2 デバイスフォントの印刷

デバイスフォントはプログラミングにより印刷ができます。

6.2 バーコードフォント

バーコードフォントとは、アプリケーション側でバーコードを生成しなくても、このフォントを指定することでバーコードを印刷できる特殊なフォントです。

バーコードフォントは、バーコードの種類や大きさを[印刷設定]で登録して使用します。プリンタードライバーは10種類(IPD Barcode1 ～ 10)の設定を登録できます。登録方法は、「3.4.5 バーコードフォントの設定」を参照してください。

注意

◆ バーコード設定やデータの指定により用紙幅(印字可能(ヘッド)幅)以上のバーコードになってしまう場合は、正しく印刷されません。

6.2.1 バーコードフォントの種類の選択

バーコードのフォント名は下記の通りです。

フォント名	フォントサイズ	文字セット
IPD Barcode1	8.5ポイント	欧文
IPD Barcode2		
IPD Barcode3		
IPD Barcode4		
IPD Barcode5		
IPD Barcode6		
IPD Barcode7		
IPD Barcode8		
IPD Barcode9		
IPD Barcode10		

6.2.2 バーコードフォントの印刷

バーコードフォントはプログラミングにより印刷ができます。

バーコードフォントデータの入力条件は下記の通りです。使用可能なバーコードフォントデータをASCII形式で入力してください。

種別	バーコードフォントデータ数	使用可能なバーコードフォントデータ	備考
UPC-A	11 ～ 12文字	'0' ～ '9' (0x30 ～ 0x39)	–
UPC-E	11 ～ 12文字	'0' ～ '9' (0x30 ～ 0x39)	–
JAN13 (EAN13)	12 ～ 13文字	'0' ～ '9' (0x30 ～ 0x39)	–
JAN8 (EAN8)	7 ～ 8文字	'0' ～ '9' (0x30 ～ 0x39)	–
Code39	1文字以上	'0' ～ '9' (0x30 ～ 0x39) 'A' ～ 'Z' (0x41 ～ 0x54) ' ' (0x20) '$' (0x24) '%' (0x25) '+' (0x2B) '–' (0x2D) '.' (0x2E) '/' (0x2F)	スタートコード及びストップコード('*')は自動で付加されます。
ITF	2文字以上 (ただし偶数個)	'0' ～ '9' (0x30 ～ 0x39)	偶数個のバーコードフォントデータを指定してください。奇数個のバーコードフォントデータを指定した場合、正常に印刷されない場合があります。
CODABAR	1文字以上	'0' ～ '9' (0x30 ～ 0x39) '$' (0x24) '+' (0x2B) '–' (0x2D) '.' (0x2E) '/' (0x2F) ':' (0x3A)	スタートコード及びストップコード('A' ～ 'D')の設定は、「3.4.5 バーコードフォントの設定」を参照してください。
CODE128	2文字以上	(0x00 ～ 0x7F) ※1 ※2 ※3	–
CODE93	1文字以上	(0x00 ～ 0x7F) ※2 ※3	–
JAN13 (EAN13) add-on 2	12 ～ 13 + 2文字	'0' ～ '9' (0x30 ～ 0x39)	–
JAN13 (EAN13) add-on 5	12 ～ 13 + 5文字	'0' ～ '9' (0x30 ～ 0x39)	–

種別	バーコードフォントデータ数	使用可能なバーコードフォントデータ	備考
Customer Bar Code	7 ～ 20文字	'0' ～ '9' (0x30 ～ 0x39)	スタートコード、チェックデジット、ストップコードは自動付加されます。 先頭から7文字は'0'～'9'のいずれかを指定する必要があります。'A'～'Z'は2文字として計算されます。
		'A' ～ 'Z' (0x41 ～ 0x5A)	
		'–' (0x2D)	
GS1 Databar Omni-directional	13文字	'0' ～ '9' (0x30 ～ 0x39)	チェックデジットは自動計算されます。
GS1 Databar Truncated	13文字	'0' ～ '9' (0x30 ～ 0x39)	チェックデジットは自動計算されます。
GS1 Databar Limited	13文字	'0' ～ '9' (0x30 ～ 0x39)	チェックデジットは自動計算されます。
GS1 Databar Expanded※5	2文字以上	' ' ～ '"' (0x20 ～ 0x22)※3	–
		'%' ～ '?' (0x25 ～ 0x3F)	
		'A' ～ 'Z' (0x41 ～ 0x5A)	
		'_' (0x5F)	
		'a' ～ 'z' (0x61 ～ 0x7A)	
		'{' (0x7B) ※4	

※1: CODE の選択によって使用できるバーコードフォントデータが異なります。
・CODE A:0x00 ～ 0x5F
・CODE B:0x20 ～ 0x7F
・CODE C:00 ～ 99(0x00 ～ 0x63) の 2 桁の数字
「表 A-2 CODE128 特殊コード表」を参照し、CODE、FNC、SHIFT の選択を行ってください。
対応するバーコードフォントデータは、「表 A-1 CODE128 コードセット表」を参照してください。
CODE128 のバーコードフォントデータの入力形式は下記の通りです。
・「CODE A」「CODE B」の場合
バーコードフォントデータ(012345)入力例
[16 進入力(E)]が「無効」の場合 :012345
[16 進入力(E)]が「有効」の場合 :303132333435
・「CODE C」の場合
[16 進入力(E)]が「無効」の場合 :入力したい文字列に対応するコードを「表 A-1 CODE128 コードセット表」の[Code]から選択し、「表 A-3 キャラクタコード表」から、そのコードに対応する文字列を入力してください。
[16 進入力(E)]が「有効」の場合 :「表 A-1 CODE128 コードセット表」の[Code]を入力してください。
※2: 0x00～0x1F、0x7F を使用する場合、「3.4.5 バーコードフォントの設定」の[16 進入力(E)]を有効にすることでコード入力が可能です。
※3: 0x20 は、「3.4.5 バーコードフォントの設定」の[16 進入力(E)]が「有効」の場合のみ使用できます。
※4: '{'は、FNC を指定する場合にのみ使用してください。
FNC1 を指定する場合、'{', '1'(0x7B, 0x31)を入力してください。
※5: 有効な入力データの詳細は、「技術説明書」を参照してください。

6.3 2次元バーコードフォント

2次元バーコードフォントとは、アプリケーション側で2次元バーコードイメージを生成しなくても、このフォントを指定することで2次元バーコードを印刷できる特殊なフォントです。

2次元バーコードフォントは、2次元バーコードの種類や大きさを[印刷設定]で登録して使用します。プリンタードライバーでは5種類(IPD 2D-Barcode1 ～ 5)の設定を登録できます。登録方法は、「3.4.6 2次元バーコードフォントの設定」を参照してください。

文字列のエンコードは、システムで現在有効になっているANSIコードページで行われます。

注意

◆ 2次元バーコード設定やデータの指定により用紙幅(印字可能(ヘッド)幅)以上の2次元バーコードになってしまう場合は、正しく印刷されません。

6.3.1 2次元バーコードフォントの種類の選択

2次元バーコードのフォント名は下記の通りです。

フォント名	フォントサイズ	文字セット
IPD 2D-Barcode1	8.5ポイント	欧文/日本語※1
IPD 2D-Barcode2		
IPD 2D-Barcode3		
IPD 2D-Barcode4		
IPD 2D-Barcode5		

※1: 日本語以外の環境では文字セット(フォントスクリプト)を「欧文」にしてください。
日本語環境では文字セット(フォントスクリプト)を「日本語」にしてください。

6.3.2 2次元バーコードフォントの印刷

2次元バーコードフォントはプログラミングにより印刷ができます。

有効な入力データの詳細は、「技術説明書」を参照してください。

6.4 コントロールフォント

コントロールフォントとは、固定の文字に割り当てられたプリンターコマンドを文書内から実行する特殊なフォントです。

6.4.1 コントロールフォントの種類の選択

コントロールフォントの種類は下記の通りです。

フォント名	フォントサイズ	文字セット
IPD Control	8.5ポイント	欧文

6.4.2 コントロールフォントの使用

コントロールフォントはプログラミングにより使用できます。

コントロールフォントとして割り当てられた文字と動作は下記の通りです。

割当文字	動作
5	HT
6	LF
7	CR
h	NVイメージ"00"(0x30,0x30) 印刷
i	NVイメージ"01"(0x30,0x31) 印刷
j	NVイメージ"02"(0x30,0x32) 印刷
k	NVイメージ"03"(0x30,0x33) 印刷
l	NVイメージ"04"(0x30,0x34) 印刷
m	倒立印字の指定
n	倒立印字の解除
o	白黒反転印字の指定
p	白黒反転印字の解除
q	アンダーラインの指定
r	アンダーラインの解除
s	強調印字の指定
t	強調印字の解除
u	文字の90度右回転の指定

割当文字	動作
v	文字の90度右回転の解除
w	位置揃え 左
x	位置揃え 中央
y	位置揃え 右
G	NVイメージ"00"(0x30,0x30) Normal印刷
H	NVイメージ"01"(0x30,0x31) Normal印刷
I	NVイメージ"02"(0x30,0x32) Normal印刷
J	NVイメージ"03"(0x30,0x33) Normal印刷
K	NVイメージ"04"(0x30,0x34) Normal印刷
P	カット位置まで紙送り
Q	カット位置まで紙送り
[	NVイメージ"00"(0x30,0x30) 4倍印刷
]	NVイメージ"01"(0x30,0x31) 4倍印刷
^	NVイメージ"02"(0x30,0x32) 4倍印刷
_	NVイメージ"03"(0x30,0x33) 4倍印刷
`	NVイメージ"04"(0x30,0x34) 4倍印刷
–	–

注意

◆ 90度回転時には、アンダーラインは付きません。

6.5 コントロールAフォント

コントロールAフォントとは、文字に事前に割り当てられたプリンターコマンドを文書内から実行する特殊なフォントです。プリンターコマンドについては、「技術説明書」を参照してください。

コントロールAフォントは、実行するプリンターコマンドを[印刷設定]で登録して使用します。プリンタードライバーでは0x20～0x7Fまでの文字に任意のプリンターコマンドを登録できます。登録方法は、「3.4.7 コントロールAフォントの設定」を参照してください。

6.5.1 コントロールAフォントの種類の選択

コントロールAフォントの種類は下記の通りです。

フォント名	フォントサイズ	フォントスクリプト
IPD ControlA	8.5ポイント	欧文

6.5.2 コントロールAフォントの使用

コントロールAフォントはプログラミングにより使用できます。

付録A コード表

表 A-1 CODE128コードセット表

Code	Data			Code	Data			Code	Data		
	CODE A	CODE B	CODE C		CODE A	CODE B	CODE C		CODE A	CODE B	CODE C
0x00	SP※1	SP※1	00	0x24	D	D	36	0x48	BS	h	72
0x01	!	!	01	0x25	E	E	37	0x49	HT	i	73
0x02	″	″	02	0x26	F	F	38	0x4A	NL*	j	74
0x03	#	#	03	0x27	G	G	39	0x4B	VT	k	75
0x04	$	$	04	0x28	H	H	40	0x4C	NP	l	76
0x05	%	%	05	0x29	I	I	41	0x4D	CR	m	77
0x06	&	&	06	0x2A	J	J	42	0x4E	SO	n	78
0x07	’	’	07	0x2B	K	K	43	0x4F	SI	o	79
0x08	(	(	08	0x2C	L	L	44	0x50	DLE	p	80
0x09	)	)	09	0x2D	M	M	45	0x51	DC1	q	81
0x0A	*	*	10	0x2E	N	N	46	0x52	DC2	r	82
0x0B	+	+	11	0x2F	O	O	47	0x53	DC3	s	83
0x0C	,	,	12	0x30	P	P	48	0x54	DC4	t	84
0x0D	−	−	13	0x31	Q	Q	49	0x55	NAK	u	85
0x0E	.	.	14	0x32	R	R	50	0x56	SYN	v	86
0x0F	/	/	15	0x33	S	S	51	0x57	ETB	w	87
0x10	0	0	16	0x34	T	T	52	0x58	CAN	x	88
0x11	1	1	17	0x35	U	U	53	0x59	EM	y	89
0x12	2	2	18	0x36	V	V	54	0x5A	SUB	z	90
0x13	3	3	19	0x37	W	W	55	0x5B	ESC	{	91
0x14	4	4	20	0x38	X	X	56	0x5C	FS	|	92
0x15	5	5	21	0x39	Y	Y	57	0x5D	GS	}	93
0x16	6	6	22	0x3A	Z	Z	58	0x5E	RS	~	94
0x17	7	7	23	0x3B	[	[	59	0x5F	US	DEL	95

Code	Data			Code	Data			Code	Data		
	CODE A	CODE B	CODE C		CODE A	CODE B	CODE C		CODE A	CODE B	CODE C
0x18	8	8	24	0x3C	¥	¥	60	0x60	FNC3	FNC3	96
0x19	9	9	25	0x3D	]	]	61	0x61	FNC2	FNC2	97
0x1A	:	:	26	0x3E	^	^	62	0x62	SHIFT	SHIFT	98
0x1B	;	;	27	0x3F	_	_	63	0x63	CODE C	CODE C	99
0x1C	<	<	28	0x40	NUL	`	64	0x64	CODE B	FNC4	CODE B
0x1D	=	=	29	0x41	SOH	a	65	0x65	FNC4	CODE A	CODE A
0x1E	>	>	30	0x42	STX	b	66	0x66	FNC1	FNC1	FNC1
0x1F	?	?	31	0x43	ETX	c	67				
0x20	@	@	32	0x44	EOT	d	68	0x67	START A		
0x21	A	A	33	0x45	ENQ	e	69	0x68	START B		
0x22	B	B	34	0x46	ACK	f	70	0x69	START C		
0x23	C	C	35	0x47	BEL	g	71				

※1: スペースを入力してください。

表 A-2 CODE128特殊コード表

Code		Data		
Code	ASCII	CODE A	CODE B	CODE C
0x7B53	{S	SHIFT	SHIFT	–
0x7B41	{A	START A	CODE A	CODE A
0x7B42	{B	CODE B	START B	CODE B
0x7B43	{C	CODE C	CODE C	START C
0x7B31	{1	FNC1	FNC1	FNC1
0x7B32	{2	FNC2	FNC2	–
0x7B33	{3	FNC3	FNC3	–
0x7B34	{4	FNC4	FNC4	–
0x7B7B	{{	–	'{'	–

表 A-3 キャラクタコード表

Code	文字列	Code	文字列	Code	文字列	Code	文字列	Code	文字列	Code	文字列
0x20	SP※1	0x30	0	0x40	@	0x50	P	0x60	`	0x70	p
0x21	!	0x31	1	0x41	A	0x51	Q	0x61	a	0x71	q
0x22	”	0x32	2	0x42	B	0x52	R	0x62	b	0x72	r
0x23	#	0x33	3	0x43	C	0x53	S	0x63	c	0x73	s
0x24	$	0x34	4	0x44	D	0x54	T	0x64	d	0x74	t
0x25	%	0x35	5	0x45	E	0x55	U	0x65	e	0x75	u
0x26	&	0x36	6	0x46	F	0x56	V	0x66	f	0x76	v
0x27	’	0x37	7	0x47	G	0x57	W	0x67	g	0x77	w
0x28	(	0x38	8	0x48	H	0x58	X	0x68	h	0x78	x
0x29	)	0x39	9	0x49	I	0x59	Y	0x69	i	0x79	y
0x2A	*	0x3A	:	0x4A	J	0x5A	Z	0x6A	j	0x7A	z
0x2B	+	0x3B	;	0x4B	K	0x5B	[	0x6B	k	0x7B	{
0x2C	,	0x3C	<	0x4C	L	0x5C	\	0x6C	l	0x7C	|
0x2D	−	0x3D	=	0x4D	M	0x5D	]	0x6D	m	0x7D	}
0x2E	.	0x3E	>	0x4E	N	0x5E	^	0x6E	n	0x7E	~
0x2F	/	0x3F	?	0x4F	O	0x5F	_	0x6F	o	0x7F	DEL

※1: スペースを入力してください。